



令和5年度 公開審査会報告書

令和5年6月18日（日） 13：00～16：40

保健福祉センター 3階 コミュニティホール

こうちこどもファンド公開審査会スケジュール

日 時：令和5年6月18日（日）13時00分～

会 場：保健福祉センター 3階コミュニティホール



13:00 **開会**

13:10～ **公開プレゼンテーション**

応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。6団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの6団体の発表が行われます。

15:05～ **休憩**

休憩時間の間に、こども審査員が一次審査を行います。

15:15～ **審査員による公開協議**

こども審査員の一次判断の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。

16:05～ **休憩**

休憩時間の間に、こども審査員が最終判断を行います。

16:15～ **審査結果発表**

16:25～ **こども審査員からの感想発表**

16:35～ **審査委員長からの講評**

16:40 **閉会**



【目次】

1	開会	1
	・ 開会のあいさつ 高知市副市長 中澤 慎二	
	・ 審査員等の紹介	
	・ 審査の流れ、審査に関してひとこと	
2	応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答	4
	・ 発表団体① 旭っ子記者クラブ	
	・ 発表団体② Mteens	
	・ 発表団体③ Lien	
	・ 発表団体④ 高知清掃隊	
	・ 発表団体⑤ Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	
	・ 発表団体⑥ Team Petrio	
	・ 発表団体⑦ Différent	
	・ 発表団体⑧ 土佐女子おれんじ flowers	
	・ 発表団体⑨ 彖ん	
	・ 発表団体⑩ 久重 natural チーム	
	・ 発表団体⑪ こくささいず	
	・ 発表団体⑫ One For All in 城西中	
3	審査員による公開協議	41
4	審査結果発表	52
	・ 審査結果発表 野村サポーター	
	・ こども審査員からの感想発表	
	・ 畠中アドバイザーより一言	
	・ 岩村サポーターより一言	
	・ 講評 卯月サポーター	
	資料編（助成金交付要綱・アンケート結果）	57



1 開会

開会のあいさつ 高知市副市長 中澤 慎二

皆さん、こんにちは。

本日は、大変多くの皆さまに会場にお集まりいただいております。
ありがとうございます。

「こうちこどもファンド」は、こどもたちに「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思うように育ってもらいたい」という思いで2012年から始まり、早いもので12年目を迎え、これまで約2,000人のこどもたちに活動を行っていただきました。

本日は前に司会をしていただいておりますのは、これまで「こども審査員」を務められた方であり、今ではスタッフとして運営側でこうちこどもファンドに関わってくださることに、心から感謝を申し上げます。

こうちこどもファンドは、こどもたち自身がアイデアを考え、実行するまちづくり活動を応援するとともに、助成するグループを選ぶ審査も、こどもたちが大人と一緒にやっていくことが大きな特徴を持っており、全国に先駆けて高知市でスタートした取組です。多くの自治体の方々が視察にもお出でいただいております、そういった取組の中で、高知市のまちづくりが進んでいると思います。

そのこどもたちが今では大人へと成長され、今度はこどもたちを支える側に回って応援して下さるまでに育っていることを、我々行政としても嬉しく感じます。

さて、今年の「こうちこどもファンド」には、12のグループの皆さんから応募をいただきました。大勢の前でのプレゼンテーションは緊張すると思いますが、この日のために準備してきた今までの努力を信じて、仲間と力を合わせて頑張ってください。

こども審査員の皆さんは、先ほどもミーティングをされていたと伺いましたが、事前に決めた審査項目について、それぞれで勉強をしてきて下さっていることと思います。

各グループのプレゼンテーションをしっかりと見てもらったうえで、適切な審査を行っていただきますようお願いいたします。

結びになりますが、こうちこどもファンドの運営に協力いただいております多くの大人の方々、ご寄附で応援いただいております地域の団体、そして企業の皆さまへ改めてお礼を申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。



審査員等の紹介

【こども審査員（10名）】

高橋 栞（大津小学校5年）、宇賀 みくる（小高坂小学校5年）、岡崎 倫太郎（高知小学校6年）、増田 善文（高知中学校1年）、高橋 奏（国際中学校2年）、古谷 愛夏（高知学芸中学校3年）、山本 稜平（高知工業高校1年）、増田 光祥（高知高校2年）、青木 晴楓（土佐塾高校3年）、青木 琉美菜（高知商業高校3年）

※増田 善文委員、増田 光祥委員は、審査会当日は欠席。

【こども審査員サポーター（7名）】※令和5年度から、「大人審査委員」から改称

卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）※審査委員長

野村 美尋（谷本物流株式会社 取締役）※審査副委員長

梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）

尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）

森岡 千晴（高知県青年団協議会 監事）

松下 整（市教育長）

中城 純一（市市民協働部長）

※森岡 千晴氏は、審査会当日は欠席。

【サポート役（2名）】

こども審査員サポーター 岩村 綾（市教育委員会学校教育課 指導主事）

こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

こどもファンド12年目にして
初の、審査会の司会を務めました！

【こうちこどもファンド審査員 OB・OG スタッフ】★Special Thanks!!

（司会）宇賀 みくも（H25・26・27・29・30、R1・3 審査員）

（運営）井津 英里（H26 審査員）

（運営）片岡 優斗（H24 審査員）

（運営）家古谷 優（H25・26・27 審査員）

（運営）大原 弘靖（H26・27・28 審査員）

（運営）竹崎 千紘（R3・4 審査員）

（運営）田部 祥一郎（H26・27・28・29・30、R1・2・3 審査員）



宇賀 みくもさん

審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、各応募団体が公開によるプレゼンテーションを行います。（持ち時間は3分間）
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。（5分間）
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員8名が、各応募事業について「いいね!」もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、「助成をするかしないか」について、こども審査員と大人審査委員が公開で審議を行います。また、「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対しては、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員8名が最終判断を行い、こども審査員の過半数5名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。

審査に関してひとこと

【山本 稜平委員から】

6月11日に事前審査会を行い、審査項目を決めました。

- ①こども中心で熱意を持ってできているか
- ②将来を見据えたある程度の計画が立てられているか
- ③チームとして個性をだせているか
- ④地域とつながりを持っているか

この4つを基準に審査を行います。

皆さんのプレゼン、期待しています。今日はよろしくお願いします。



2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答

発表団体① 旭っ子記者クラブ（活動テーマ：ひろがる・つながる・あさひのわ）

【劇とパワーポイントを使ったプレゼンテーション】



「こんにちは！旭っ子記者クラブです！」

「今から、私たちの活動を紹介します！」

「私たちの旭地区は、電車通りがあってイオンがあって特急の停まる駅もあります。」

「一方で、80年以上も旭を見守ってきた木村会館、今年150歳になった旭小学校、とにかく古い本宮神社。」

「旭のまんなかを流れる本宮川には、いろいろな生物がいます。」

「旭は、新しいものと古いものや自然がいっしょにある楽しい町です。」

「うわー、本宮川は、草だらけでぜんぜん映えんちゃ！」

「三面コンクリートの川にしたら、水もようけ流れて便利になるぜよ！」

「いかんき！」

「だれや、おんちゃん？！」

「川をコンクリートで固めちゃったら、生物が生きられんき！いかん！」

「魚は鏡川でも泳いどいたら、ええろう。」

「あほう！魚も棲まん川を見て、旭っ子が育つか！」

「本宮川にはねえ、旭の人らの想いも流れゆうがよ。それだけやない」

「あ、何か光った！」

「あてらが守っちゃう光よ。かーいらしいろう♪」

「蛍や！こんな町中に蛍がおる！」

「旭の魅力を地域の人にも知ってほしい！」

「取材や地域活動への参加を通して、たくさんの人が一緒に活動できたら、イベントも盛り上がるし、横のつながりは町の防災にも活かせると感じました。」

「魅力を伝えるのにSNS発信や通信の発行は効果的だけど、一番は町に出てきて魅力を体験してもらうことです。」

「昨年、旭のハロウィンイベントでスタンプラリーをやりました。」

「地域の人と謎解きしたり、宝さがしをしたり、友だちや親子でもとても楽しむことができました。」

「チェックポイントのイベントに挑戦しながら旭の知識とつながりをゲットしていく『旭 de GO ！』参加したら、君も今日から『旭っ子』！」

「昨年の活動で、地域の人たちと仲良くなりました。」

「今年は、木村会館のリニューアルオープニングセレモニーに呼んでもらって、あいさつをしました。本宮川の生物救出にも出動しました。」

「蛍の勉強会で、蛍博士に『蛍はうんこしない』ことを教えてもらいました。知らないことを知るのは楽しいです。」

「ぼくたちは、旭の面白いこと面白くないことも調べて、通信を発行したり、ブログやSNSで情報発信します。最後には、情報をまとめた冊子の発行も計画しています。」

「町ではオリジナルのスタンプラリーを企画して、地域の人との絆を深めます。深めて、地域の人たちといっしょに旭を盛り上げます。」

「旭っ子記者クラブをよろしくお願いします！」

【質疑応答】

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。1つ質問ですが、YouTube での発信を今年からされるということで、ブログと違って特にネットリテラシーの部分で気を付けないといけないことがあると思いますが、気を付けたい部分や、こういう学習をしたいといったことはありますか。

旭っ子記者クラブ

地域の人も呼んで、ネットクイズ大会を計画中です。

青木琉美菜委員

発表お疲れさまでした。YouTube は生配信を予定していますか。それとも編集したものをアップする予定ですか。



旭っ子記者クラブ

今のところ生配信をする予定はなく、編集した動画をアップする予定です。

山本稜平委員

申請書にはイベントにチェックポイントを置くようですが、どこに、どんな内容で置く予定ですか。



旭っ子記者クラブ

去年同様、取材先や地域の人をお願いしてもらって置かせてもらう予定です。地域の掲示板などにも置かせてもらいます。



古谷愛夏委員

発表お疲れ様でした。ブルーサンタについて少し興味があるのですが、教えてもらえますか。

旭っ子記者クラブ

ブルーサンタは本宮川の清掃をする活動です。

青木琉美菜委員

台風による大雨の後の生物の救出があると思いますが、救出した魚はその後どうなるのか知りたいです。

旭っ子記者クラブ

救出した魚はバケツなどに入れて、安全な場所に持っていくと思います。



情報発信

フォローして、楽しんでください！

- 1 ブログ
- 2 ツイッターやインスタ
- 3 ユーチューブ動画
- 4 通信 → ネットが苦手な人に
- 5 冊子 → 取材でお世話になった人やこれから知り合いたい人に

ぼくらの旭

旭っ子記者クラブ

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは！ Mteens です！

昨年は「マンネリ化からの脱却！～高校生中心の防災～」というテーマで防災活動を行ってきました。

昨年の活動は、校内での「炊き出し」「講演会」「HUG」でした。

丸の内高校の生徒が行った「防災意識はあるけど実行まではいかない」という実態をアンケートで知り、実際に活動できる高校生を増やせるよう、これらの活動を行ってきました。

本年度は、「校内だけの活動にとどまってしまった」という昨年度の反省を活かして、校外でのイベントに積極的に取り組みたいです。

また、新メンバーも加わったので、昨年度にはできなかったことにも挑戦したいです。

今までは、炊き出し活動のような「災害後の防災」に力を入れていましたが、本年度は災害が起きる前の「減災」にも力を入れていきたいです。

本年度の活動予定は、大きく分けて3つです。1つ目は「窓ガラス飛散防止フィルムの普及活動」です。フタガミさんの協力のもと、フィルム貼りのレクチャーを受け、まずは丸の内高校で練習を行います。

その後、保育園などに出張して貼り付けをし、イベントでブースを出店するという流れを想定しています。

2つ目は「炊き出し活動」です。昨年度と異なり、校内から飛び出して活動をしていきたいです。

3つ目は「文化祭でのブース出店」です。文化祭で校内へのアピールを行います。

7月8日には、フタガミさんの窓ガラス飛散防止レクチャーを受けることが決まっています。丸の内高校で練習を行い、夏休み以降、校外に行って貼り付けを行いたいと思っています。

活動計画・目的

昨年度の反省

…校外の人と協力するような活動ができなかった
→**校外でのイベント**に積極的に取り組みたい

新メンバーの加わった「新体制」で**昨年できなかった活動**

炊き出しという「災害が**起きた後の**防災」だけでなく、
「災害が**起きる前の**防災」にも力を入れていきたい。

9月9日には、フタガミさんのイベントで成果デモンストレーションを行う予定です。

9月3日には、はりまや橋小学校区連合防災会さんのイベントに参加したいと思っています。

11月頃には、自分たち主催のイベントを開催する予定です。このイベントは、高校生の参加を主に考えていて、近隣の高校に声をかけ、丸の内高校で開催したいと思います。

活動内容は、炊き出しや講演、窓ガラス飛散防止活動のブース出店を予定しています。

本年度の最後には、文化祭で成果発表をします。

私たちは、本年度は減災に力を入れたいと思っています。
また、他団体のイベントに積極的に参加し、フタガミさんとも協力し、高校生目線のイベントを計画しています。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

活動予定

- **窓ガラス飛散防止フィルムの普及活動**
レクチャー → 丸の内高校で貼り付け
→ 保育園などに出張 → イベントでのブース出店
- **炊き出し活動**
- **文化祭でのブース出店**
活動報告を行い、Mteensを宣伝する。

【質疑応答】

青木琉美菜委員

発表お疲れさまです。イベントブースの出店と言われていましたが、具体的にどんなブースを出店する予定ですか。

Mteens

はい。ご質問ありがとうございます。3つ考えていて、1つ目は、去年から継続している炊き出し活動を実施する予定です。2つ目は、講演会です。去年は、講師の方をお招きして講演会をしましたが、今年は自分たちでテーマを決めて実施する予定です。3つ目は、飛散防止フィルム貼りをレクチャーするブースを出店する予定です。他にも、簡易トイレなどの防災グッズのブースを作ろうとしています。

高橋奏委員

飛散防止フィルム貼りについて、保育園などに行って一つの場所にどれくらい貼るのかなど具体的に分かれば教えてほしいです。

Mteens

はい。フィルムは50枚購入を予定しているのですが、全部を保育園に使うのではなく、あくまで啓発の意味で保育園の1室くらいに貼ることを予定しています。それで保育士さんが他の部屋にも貼りたいと思ってもらうことを目的としています。

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。防災の活動では、幅広い年代の方に呼びかけていきたいとおっしゃっていましたが、高校生中心にイベントを開催する場合、どのように幅広い年代の方を巻き込んでいこうとし



ていますか。

Mteens

申請書の方にはそのように記載していたと思いますが、その後、新メンバーが入ってきて、みんなで集まって話し合った時に、やっぱり高校生中心の防災にしたいので、イベントは高校生を中心に行いました。幅広い地域の年代に対しては、フタガミさんが開催するイベントなどに参加した際に「良かったら飛散防止フィルムを貼ってみませんか？」と声をかけさせていただくなどの交流をしていきたいと思っています。

山本稜平委員

窓ガラスなどに飛散防止フィルムを貼るのは、小さい子たちに教えるのは難しい点があると思います。その点についてはどのようにお考えですか。

Mteens

はい。飛散防止フィルム貼りでは、こどもたちの命を守るということを伝えたいと思っています。なので、その点でいうと飛散防止フィルム貼りの対象は保育士さんだと思っています。

発表団体③ Lien（活動テーマ：異文化交流を通して英語の楽しさを知ろう）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



Let's start the presentation of Lien !

始めに、Lienの活動目的について説明します。活動の目的としては主に2つあり、1つ目は“自分の力で異国の人とつながれる楽しさ”を知り、その経験を生かして中学から始まる本格的な英語学習への意欲の向上に繋がってほしいと考えています。

2つ目は、団体の目的となる“異文化交流を通して身近な課題から取り組み、最終的に多文化理解を実現する”きっかけの場を作りたいという目的を持って活動していきたいと思っています。

これから皆さんに2人の音声を聞いてもらいます。この音声は英語の質問に対して、即興の英語で答えてもらった比較の音声です。

～音声～

前者に比べて後者の方が質問に対して流暢な英語で返答していることが聞き取れます。この2人の違いは、本格的な英語学習を始めるタイミングでした。前者は中学生からで、後者は小学生から英語学習を始めています。この差に着目し、本格的な英語学習が始まる前からの経験がこの差を作っているのではないかと考えました。このことから、今回の活動では小学生を対象としたイベントを開催したいと思っています。

活動内容として、10月に目的に沿った体験型のイベントの開催し、イベント開催後、好評であれば後継メンバーへの呼び掛けと引き継ぎを行いたいと思っています。



イベントでは、多文化理解に繋がるアクティビティとしてメキシコの伝統的なくす玉である「ピニャータ」を使った遊びや、外国人の方と自分の力で交流できる楽しさを経験できるアクティビティとして実用的な英語を用いたスポーツを行いたいと思っています。

今回の活動の魅力として、SDGsの視点から見ると、10個目の目標である“人や国の不平等をなくそう”に直接的にアプローチできるような活動であり、こどもの英語学習への関心や意欲の向上につながることから将来的にグローバル社会への適応が見込まれ、外国人の方々との交流を通して多文化理解につながるきっかけ作りができることです。

多文化理解が実現すれば世界的な差別がなくなり、11個目の目標である“住み続けられるまちづくり”につながると考えます。私たちはこの魅力を活かしてまずは地域の小学生から活動を広げていきたいと思っています。

【質疑応答】

山本稜平委員

発表お疲れ様でした。後継メンバーはどのように集めるつもりですか。

Lien

後継メンバーは主に自分たちの学校で発表するなどして声掛けをしようと考えていて、活動内容は主に今回のようなイベントを重ねていきたいと考えています。



青木琉美菜委員

発表お疲れさまでした。申請書に外国の伝統的なゲームとして「ダックダックグース」があげられていますが、どんな遊びか教えてくださいませんか。

Lien

実際にやってみます。～実演～ こういう感じで、日本でいうとハンカチ落としのことです。

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。1つ質問です。小学生にいきなり英語が学べると紹介しても、不安だったり、興味がない方もいると思います。そういう小学生に向けて何か興味を持ってもらうきっかけの工夫などはありますか。



Lien

はい。そのために、英語でしゃべらなくても単語とか「Good!」とか「Nice!」などの英語を用いたスポーツなど簡単に始められるものをやってみようと思っています。

宇賀みくる委員

支出内容のところに文房具があるのですが、そういうのは学校から出たりはしませんか。

Lien

まだ学校には確認をしていないですが、もし学校から借りられなかった時にために計上しています。

発表団体④ 高知清掃隊（活動テーマ：地域×清掃 みんなが住みやすいまちづくり）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



はじめまして。私たちは、高知を住みやすいまちにしていけるための団体です。これから、私たちのこうちこどもファンドで活動する内容について説明させていただきます。私たちは、「地域×清掃＝未来」を掲げています。これは、高知のまちに住んでいる人を大事にし、きれいで住みやすい高知を作っていきたいと考えているからです。

私たちはこれまで掃除部という名のもとに、川の側溝などの清掃や、除草等の作業を行ってきました。また、それ以外にも広報に力を入れており、これからの活動でも広報に力を入れていきたいと考えています。

例えば、HP や Instagram、公式アカウントの運用やまちのコインを活用した活動体験のきっかけづくり、チラシ配布を通しての多くの方へ活動の認知度の拡大、さらに高知清掃隊ではメンバー内での役割分担を広報係、企画係、掃除係として行っており、メンバーの作業の負担軽減や学業への集中を図り、思案への柔軟な対応ができる仕組みを作っています。

活動内容について、3つに分けて説明します。1つ目は、参加型清掃活動です。7・8・10・11月に、ごみの量を調べます。旭地区の河川敷で清掃活動を実施する予定です。

この活動についても、事前に広報を行い、多くの地域の方に参加していただき、まちをきれいにすること、ごみを分別することの大切さを啓発していきたいと考えています。

2つ目は、イベントの企画です。清掃活動に参加してくださった方々に向けて、ごみの集計データを報告するブースや、こどもから大人までが楽しめる体験型ブース、この体験型ブースはごみを使った絵の制作やごみの分別クイズなどを考えています。地域の団体や、他のこどもファンドの団体ともコラボをしてブース出店したいと考えています。

3つ目は、活動で回収したごみを使った製品開発です。今回は、拾ったゴミをリサイクルし、T シャツを作成することを予定しています。イベントや活動の際に使用し、「これはもともとゴミでした。別の見方をすると、T シャツを捨てているようなものなのです」という説明をして、ごみを捨てることがなぜダメなのかを考えてもらえるようになればいいと考えています。ご清聴ありがとうございました。



【質疑応答】

青木琉美菜委員

発表お疲れさまでした。ごみを再利用してT シャツを作成すると言っていましたが、どうやって作るか決まっていたりしますか。



高知清掃隊

ご質問ありがとうございます。今のところ、日本環境設計さんという企業の方と連携してT シャツを開発しようと思っています。

卯月サポーター

申請用紙に、7つの高校の学生が入っていて特異だなと思ったのですが、どのようにして集めたのか教えてくださいませんか。



高知清掃隊

ご質問ありがとうございます。もともと私たちは掃除部として3年間活動してきました。元々はほとんどのメンバーが中学生の同学年で、卒業を機に高校がバラバラになってしまったのですが、それでも活動を続けたかったので、高知清掃隊として活動することになりました。

卯月サポーター

ありがとうございました。

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。申請書に記載されてある計画しているイベントで、「ごみの重さの持ち上げ体験」や、「ごみを使った絵の参加型制作」などのゲームブースを予定しているとありますが、イベントを実施するまでの間に収集したごみはどこに置いておくか決めていますか。

高知清掃隊

イベント時に、実際に拾ったごみを使用するものとして、プラスチックなどは置いておきますが、生ものなどは回収時に可燃ごみとして捨てる予定です。その際に、重量などは測っておき、ごみの重さ体験を行う予定です。

青木晴楓委員

ごみをもとにした絵の参加型制作は、誰でも楽しめるような参加型の清掃として、野外に皆さんが清掃活動で拾ってきたごみを置いておくのかと思いました。

高知清掃隊

すみません。ありがとうございます。絵の参加型制作でのごみというのは、模造品を使用します。もともとある絵のうえに模造品のごみを散らばせて、それを分別しながら、もとの絵が完成していく、それを何なのかを当てるといったブースを置くことをイメージしていて、分別するとこれだけきれいになるという意識を啓発する活動なので、模造品で対応したいと思っています。

高橋奏委員

発表お疲れさまでした。高知市を中心に活動するということで、掃除場所は何を基準に決めているのかを教えてください。

高知清掃隊

ご質問ありがとうございます。今回は、今年の計画は旭、潮江地区などを緑地の夏と秋など季節の変化によって、ごみの量が変わるのか調べたいです。これからのメンバー会議で、側溝の清掃などの予定ができれば、そこに行って清掃をする予定です。

発表団体⑤Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

(活動テーマ：まもれ 高知 自らの生命を 守り 我らの 地域を救う)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



南海中学校の防災学習を「南海サバイバルプロジェクト」、通称「NSP」と呼んでいます。NSP のキャッチフレーズは、「地域の絆は防災の力」です。

東日本大震災の後、平成 24 年に発足してから、地域の絆が防災の力になると考え、地域の絆を深め、防災意識を高める学習や活動をしています。南海トラフ大地震が起きると、最大で 15m の津波が想定され、南海中学校区域の多くが津波により水に浸かってしまう危険があります。

そこで、保育園や、小・中学校のときから、防災について学習しておくことが大切です。

これは私たちが南海トラフ地震の危険から自らの命を守るために行っている活動です。

1 年生は防災グッズづくり、2 年生は炊き出し訓練、3 年生は避難所開設訓練などを行っており、午前中は南海中学校の生徒だけではなく地域の人と一緒に避難訓練を行っています

これは NSP が作った津波避難マップです。近くの避難場所が一目でわかるようにしました。地域一斉避難訓練の際は、生徒も地域の方も自分の家から一番近い避難場所に避難することにしています。マップの裏面には、避難場所の写真と情報を記入しています。

写真やワンポイントなどは NSP のメンバーで実際に山に登って記入しました。こどもやお年寄りも

使いやすいようにこども目線やお年寄り目線で書きました。ほかにも防災倉庫があるか、のぼりやすいか等も書かれています。避難場所については NSP 実行委員会のメンバーが毎年確認に行き、更新しています。

今年の7月に、英語版の避難マップが完成する予定です。地域に住んでいる外国の方や、地元の観光地に訪れる外国人のために作成しています。今年の9月に配布予定です。

他にも地域の人たちの不安を軽減するために新しい情報を追加していきます。地域の避難訓練で実際に地域の方が避難してくるのに何分くらいかかるのかなどを記録して、次回のマップ改訂の際に活かしたいと考えています。

今年の5月に行われた「長宗我部まつり」では「防災俄（にわか）」を披露しました。「防災俄（にわか）」は、要望があれば、出前公演も行っています。

このように、地域のイベントなどに参加して地域の人たちと交流し、防災を呼びかけています。合言葉は「まもれ高知(ふるさと) 自らの生命(いのち)を守り われらの地域を救う」。これからも、私たちは地域の絆を深め、防災意識を高める学習や活動をしていきたいと思っています。

姿勢、礼、ありがとうございました。



【質疑応答】

山本稜平委員

発表お疲れさまでした。英語版の避難マップを作るということで、取り組み自体はいいと思います。これを地域の外国人の方々に渡す際に、こういった人に、どこで、どういう機会に配るのかを教えてください。

Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

地域には、少数ながら日本語を読めない外国人の方もいらっしゃいます。そして、コロナが落ち着いて高知新港に大型客船が来るなど、外国人の観光客の方が来ることも予想されます。そして、外国人の観光客の方が旅行で困ったことの1つに多言語での表記が少ないということがあります。防災マップは、いざという時に必要ですが、現在は日本語版のみの表記となっています。いざという時に、外国人の方がどのように逃げたら良いのか、どのように伝えれば良いのかを考えた時に必要だと感じました。

地域にいる外国の方の人数は、正確に数えられないので、訓練に参加した地域の方に、近くに外国人が住んでいないかを確認します。

外国の観光客の方にも見てもらうため、桂浜水族館などにも置いてもらう予定です。

山本稜平委員

分かりました。ありがとうございます。

青木晴楓委員

防災マップの英語版の作成ということで、実際に避難訓練をやる際に、外国人の方にマップに書いてあること以外の英語も必要だと思いますが、それに対して何か考えていますか。

Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

今までに避難訓練で日本語をしゃべれない外国の方が来た例がありませんが、でも外国人の方が来た場合は、できるだけ南海中学校の生徒が身振り手振りで伝えようと思います。

高橋菜委員

地域の人だけでなく、地域に来る外国人の方に向けても英語のマップを作成しようと考えているところがすごいと思います。

Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

ありがとうございます。

↓ 2022年度版 南海中学校区防災マップ



避難場所（この場所に逃げる）	避難場所・避難路入口	中学生からのワンポイント	避難場所（この場所に逃げる）
高知市クリーンセンター 		広い駐車場もあり、たくさんの人が避難できる。看板が分かりにくいかも。	雷蔵寺の西
八反地公園裏山 	長浜北岸① 	広いスペースがないが、避難路はきれいに整備されていて、避難に必要な高さは十分にある。明かりがないので夜は見えなくなる。足元に気をつけること。	月見が丘公園
長浜城跡 	長浜北岸② 	頂上に広いスペースあり。道幅は、1人分くらいで手すりがある。階段数が多いが、途中に休憩するスペースがある。	★南海中の指定避難場所 旧御堂瀬小学校屋上
	長浜北岸③ 	工場の中を通り抜けて山際へ行き、避難路を上ることになる。災害時等を除いて立入禁止。	江川山

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



みなさんこんにちは。私達は、Team Petrio の国際高校 1 年の川村華子、森己珂と三谷叶佳です。

私たちは、解決していない問題も多い動物愛護にフォーカスした活動を行おうと思っています。

こんな猫、知っていますか？ 耳を見ると一部欠けているのがわかると思います。これは、「さくら猫」といって、TNR 活動によって生まれる猫です。

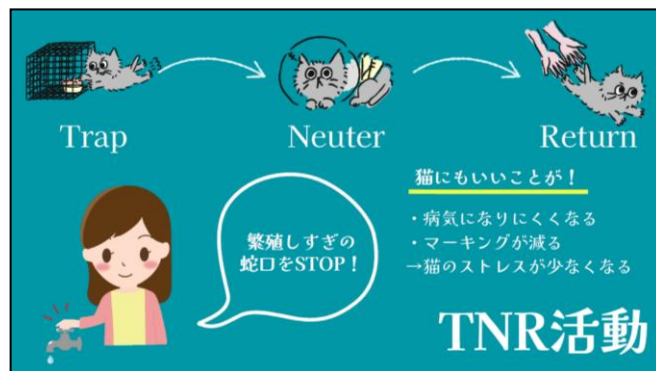
TNR 活動は、野良猫を捕まえて、赤ちゃんを産めなくなる手術をした後、元居た場所に返すというものです。その際に、手術をした証として耳の一部をカットします。それがさくら猫です。

私たちは、友達と弱った子猫を拾ったり、殺処分前の犬を受け入れたなど、動物にご縁があったことをきっかけに昨年から動物愛護の活動を開始しました。

今年は活動 2 年目になります。昨年の活動の中で、特に印象に残っている活動の一つを紹介します。先ほども言った、実際に高知県内で「地域猫活動」をしている地域に見学に行きました。この活動は、私たち主体でできそうだと感じ、新たにこの活動に加えていこうと思いました。

まず、自分たちで調査をし、そのなかでインタビューやイベントに参加してきました。そして最後に学んだことを活かして、動物を迎えるときに大切なことをまとめたポスターを、成果物として作成しました。

私たちは今年、「地域と動物をもっと密に！！」をテーマに活動していきたいと思っています。



これらを踏まえて、今年の活動予定について説明していきます。詳しい計画については、応募申請書をご覧ください。まずは、去年に引き続き、譲渡会への参加とインタビューを行っていきたいと考えています。

譲渡会では、去年と同様、ボランティアさんのお手伝いと同時に、ワークショップや資料の配布という形で、情報発信も行います。

次に、昨年度の活動の中で作成したポスターの小・中学校への配布と合わせて、一部の小学校に出前講座を行うことも計画しています。

また、今年度の後半は、地域猫活動のお手伝いを活動の中心としていく予定です。

「地域猫活動」は、人にとっても猫にとっても持続的な愛護活動だと活動の中で分かったため、その学びを活かした活動を進めていきたいと考えています。全体を通しては、活動の基礎となる情報収集がメインだった昨年度に対し、広報などに焦点を置いた実践的な活動をしていきたいです。

以上です。ご清聴ありがとうございました。



【質疑応答】

宇賀みくる委員

Team Petrio の皆さんが考える、ペットと人間が幸せに暮らせるまちについて教えてほしいです。

Team Petrio

昨年の活動も通して、どちらかというと私たちは人間と動物が一緒に受け入れながら仲良く暮らしていくためにどう共生していけばよいかを考えることを活動のメインにしているのですが、交通事故で亡くなってしまう猫ちゃんたちの問題などもあがっているので、ペットの安全面の確保についても活動の中で広報をしていきたいと思っています。



古谷愛夏委員

発表お疲れさまでした。出前講座の具体的な内容は、今の段階で決めていますでしょうか。



Team Petrio

去年はインタビューを多く行い、情報収集をしてきたのでそれを伝えようと思っています。小学生向けなので、専門的な内容だと伝わりにくいため、（小学生に）合った教育ではないと思います。「人間が我慢せないかん」とか、「動物が我慢せないかん」ということではないことを、強調しながら講座をできればいいなと考えています。



青木晴楓委員

ポスターの配布が地域の公立校に向けてあると思いますが、地域に向けては配布をしないのでしょうか。学校内に配布をとどめた理由を教えてください。

Team Petrio

ポスターの配布先は、市内の小学校すべてに配布し、中学校は私達がいる国際中学校に配布をしようと思っています。

去年、南国市ジュニアリーダークラブという団体とも、コラボしたので、南国市の学校と地域向けにも少し配布しようと考えています。



高橋奏委員

発表お疲れさまでした。去年とはまた違う別の視点から取り組もうとしているのが素晴らしいと思いました。助成されたら、ぜひ頑張ってください。

Team Petrio

ありがとうございます。

発表団体⑦ Différent（活動テーマ：地域との関わり×防災）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。私たちは Différent です。

私たちは今回で3回目の活動となりました。毎年、防災イベントを開催してきましたが、1年目には77名、2年目には110名の方がイベントに来てくださいました。

こちらは1年目の活動の様子です。（パワーポイント参照）

こちらは2年目の活動の様子です。（パワーポイント参照）

今年のテーマは、「地域との関わり×防災」です。

高知県には、南海トラフ地震が来ると言われていることから、未来を担う私たちが防災のことを学ぶ必要があると思いました。そして、高知国際高校が避難所になっていることから、地域の人とのつながりを持つことも大切だと思いました。

前回の活動報告会から取り上げた3つの展望として1つ目は、後輩育成をするため、新たに後輩も加えた中学2年生から高校2年生までの計10名で構成しました。

2つ目に、企業や他団体と連携を深めるために、他の団体や企業等呼んでブースを展開したいと考えています。



3つ目に、災害の募金活動の一環として、右ような（パワーポイント参照）ポスターを作成し、トルコ募金にも取り組む予定です。

続いて、活動テーマと目的についてお話しします。今年も地域の方を招いた防災イベントを開催することで「地域との関わり×防災」をテーマに活動を行いたいと思います。

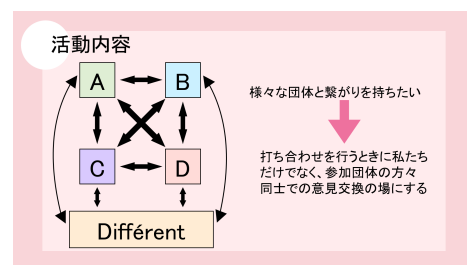


今年は、他団体との交流や講演会を通して、自分達も防災について学び、地域や他団体との交流、去年以上のコミュニティ形成を目指しています。

次に、活動内容についてです。前回に引き続き、今年度行う活動として団体間や、地域の方とのつながりを意識すること、イベント告知活動では、学校周辺の小中学校や商業施設にポスターやチラシの配布を行うこと、また、一昨年から運営している Différent の Instagram を用いて、防災情報や自分たちの活動の情報を発信することなどがあげられます。

また、今年度から新たに取り組む活動は、3つあります。1つ目は、新たな防災意識の獲得や他団体との交流を深める「バッククッキング」。2つ目は、同じ防災という内容で活動できるのが今年度で最後なので、来年度以降に向けた資金調達を目的とする「クラウドファンディング」。3つ目が、後輩育成を目的とした「ミニイベントの開催」です。

これは、私たちの活動を図式化したものです。例えば、打合せの時にはA～Dまでの複数の団体を招き、その場で発表してもらうことによって、私たちだけでなく、複数の団体が意見交換できる場にもなると考えています。



これで Différent の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

青木琉美菜委員

発表お疲れさまでした。来年度に向けての資金集めとして、クラウドファンディングに取り組むとおっしゃられていますが、寄附型か購入型かなど、どのようなものを考えられているか教えてください。

Différent

ご質問ありがとうございます。私たちは寄附型を行おうと考えています。クラウドファンディングについては今年度寄附してもらうのではなく、来年度以降の活動に向けた2カ年計画となっていますので、今年度からクラウドファンディングの計画を立て、来年度以降も同様のテーマで私たちの後輩が Différent として活動できるよう募金を募りたいと思っています。以上になります。



青木琉美菜委員

ありがとうございます。

山本稜平委員

パッククッキングをやるということで、味が美味しくないということが考えられますが、どのようにしてその点を補うかについて教えてほしいです。

Différent

ご質問ありがとうございます。私はパッククッキングを体験したことがありますが、その際はケーキのようなものを作りました。チョコを加えるなどして、素朴な味にならないように工夫しました。私以外の他のメンバーはまだパッククッキングを体験したことがないので、防災食の味があんまりよくないことも含めて、防災食の学びにつながると思うのでやりたいと思っています。

山本稜平委員

ありがとうございます。今後も活動に期待しています。

岡崎倫太郎委員

ポスターが余ったらどうしますか。

Différent

ご質問ありがとうございます。以前までは、ネットであがっている生徒数の合計でポスターを発注していましたが、今回は事前に配布先の学校に問い合わせをしてから、基本余りがほとんど出ないように調整して発注しようと考えているので、以前よりもポスターやチラシが余らないようになると思います。

岡崎倫太郎委員

ありがとうございます。

高橋栞委員

Instagram をやって成果はありましたか。

Différent

Instagram に関しては、活動1年目から運用していますが、2年間で27投稿行いました。2年間投稿し続けて、91人フォロワーがいます。去年のイベントの際、Instagramを見て活動に来てくれたと

いう方が多くいらっしゃいましたので、そのような面から Instagram の効果は一定あると考えています。

発表団体⑧土佐女子おれんじ flowers

(活動テーマ：地域と関わりながら生理について知ってもらってみんなが住みやすい社会へ)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。私たちは「土佐女子おれんじ flowers」です。先輩たちが2年前に立ち上げたこの団体も、今年で3年目になります。これまで、女性の生理に注目して活動してきました。

1年目は、生理について説明したアニメーションのDVDを作り、高知市内の小中学校へ配布しました。

2年目は、不要な手芸品をアップサイクルして販売し、売り上げで生理用品を買い、高知市内のこども食堂へ寄付しました。

それらの活動を踏まえ、もっと直接人と関わって、生理のことを伝えたり、ナプキンを届けたり、できれば現状を知ったりしたいと思い、今年度の活動を決めました。

今年度のテーマは、「地域との関わりを持ちながら生理について知ってもらってみんなが住みやすい社会へ」です。

そのために、こども食堂でイベントを開催します。イベントの内容は次の通りです。生理についてのクイズをして、生理に関する社会問題などを楽しみながら知ってもらいます。これは、女の子だけでなく、だれでも参加できます。また景品に駄菓子を用意します。なぜ駄菓子かというと、昨年度、私たちの活動を応援してくれたこども食堂の方から、生理用品も必要だけど、駄菓子そのものや、「駄菓子屋」さんのような憩いの場が必要なこどもたちもたくさんいると聞いたからです。

次に、昨年度の活動で余ったビーズなどを活用して、こどもたちと一緒に小物を作ります。例えば、このようなものです。

また、サニタリーポーチやナプキンも残っているので、それをセットにして女の子たちには配りたいと思います。

イベントはこども食堂『ほっと笑』さんが、場所の提供などを快く引き受けてくださいました。こちらの代表の野村さんは、昨年度、何度か私たちのイベントにも来てくださって、今回の活動のヒントをくださいました。

また、鏡川緑地イベントなどのイベントへの参加も前向きに検討しています。

野村さんから、「プレイベントを開いてみたら？」とアドバイスしていただいたので、8月にプレイベントを実施し、そのあとは1か月に1回の頻度でイベントを開く予定です。

また、活動の最後には、この3年間の活動をまとめ、こうちこどもファンドや私たちの活動を知ってもらえるように、公共の掲示板に模造紙で報告書を作ります。私たちの活動を通し、少しでも社会が良くなるといいなと思います。

また、色々な人に知ってもらうことで、生理の問題を意識する人も増えてほしいです。

以上で私たちの発表を終了します。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

山本稜平委員

僕だけでなく、会場の皆さんが聞きたいことだと思うのですが、このテーマは男性が関わりづらい部分があると思います。どうやって関わりやすくするか教えてください。

土佐女子おれんじ flowers

講演会などは堅苦しくなってしまうので、気軽に参加できるクイズなどであれば参加しやすくなると思っています。景品なども用意すると、もっと盛り上がると思っています。

宇賀みくる委員

景品として駄菓子に、1回8,000円は結構使いすぎていると思います。

土佐女子おれんじ flowers

1回で8,000円ではなく、何回かに分けて使います。どれだけ人が来るか分からないので8,000円にしています。

高橋奏委員

感想です。今年の活動で去年のものを再利用して活動するというところで、SDGsみたいなところがすごくいいなと思いました。

青木琉美菜委員

なぜイベント場所にこども食堂を選びましたか。



土佐女子おれんじ flowers

ご質問ありがとうございます。私自身の話になってしまうのですが、もともと児童福祉や貧困問題に興味があって、みんなでやろうとなりました。

青木晴楓委員

質問とずれてしまうかもしれませんが、生理の時って男の人とか特に「今日生理なの？」とか聞いたらセクハラと捉えられかねない時代じゃないですか。そういった面でなにか考えられていたりしますか。

土佐女子おれんじ flowers

ご質問ありがとうございます。生理のことは特に男の人はタブー視している人が多いと思います。直接じゃなくて、間接的に温かい飲み物を用意してあげたりする等のように気を回してくれたらすごく嬉しいなと思います。

これまでの活動



子ども食堂でイベント開催

- 生理にまつわるクイズ
賞品に駄菓子を用意
- 子どもたちと一緒に小物づくり
材料は昨年度の残りを活用
- 女の子にはサニタリーポーチ
+ ナプキンをプレゼント

どうして
駄菓子??



発表団体⑨ ゑん（活動テーマ：伝統工芸品×地域活性化）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



私たちは「伝統工芸品×地域活性化」というテーマで活動します。皆さんは、高知県の伝統工芸品を知っていますか？高知県の伝統工芸品は、世界のアメリカやイギリスなどで注目されています。また、土佐打刃物はフランスで認められています。そして、私たちの協力団体である創流舎さんは、土佐和紙を使って作る人形は、県外で認められています。

私たちはこういった高知の伝統をもっと知らせていく工夫が必要なのではないかと感じました。

現状として、伝統工芸品の生産額や従業員数が減っていています。また、皆さんもご存知のとおり、高知県は人口減少や少子高齢化といった問題があります。

私たちは、伝統工芸品を使ってこれらの活動を解決したいと考えました。また、個人的興味や経験から、「伝統工芸品×地域活性化」というテーマで活動します。

また、僕たちが行った事前調査についてです。学生を対象に、高知県における伝統工芸品の認知度を確認するアンケートを実施しました。

1つ目として、「高知県が持つ1番の魅力は何ですか？」という問いに対して、自然や食という回答が大変多かったのに対して、伝統工芸品があまり注目されていないことが伺えます。

そして2つ目、「伝統工芸品に対してのイメージは？」という問いに対しては、職人や文化財は僕たち学生にとって、少しとっつきにくい項目が目立ったので、僕たちは伝統工芸品をもっと気軽に触れ



られるような機会を作りたいと思いました。

次に、事前調査を行いました。この際には、ワークショップを開催しました。続いて、行動計画ならびに内容について話していきたいと思います。

まず7月は、私たち「ゑん」についての活動の周知や協力団体に対しての詳細な説明を行いたいと考えています。その際に、大人サポーターである石筒先生を中心に、はりまや橋商店街で働く方々などにゑんについてのご説明をしていただきたいと思います。

次に、8月18日、私たちは第1回目のワークショップを開催します。このワークショップでは、展示やアーティストを招いた作品展示を予定しています。こちらについては高知県外に焦点を充てたワークショップの開催を予定しています。

次に、12月、こちらについて2回目のワークショップを開催したいと考えています。報告会での振り返りをもとに、ブラッシュアップした展示を考えています。

こちら（発表スライド参照）は、協力団体になります。ご清聴ありがとうございました。

事前調査(計画)

②高知国際中高の生徒・教職員を対象に、活動目標・報告会と伝統工芸品に対してどのようなアプローチをしていくべきかワークショップを実施



中学生が発表している様子



高知県の伝統工芸品へのアプローチを考えていること

協力団体(敬称略)

ミズカ



香川県出身のアーティスト
主に「ぼうや」と言われるキャラクターを
中心としたイラストや、グッズを制作している

草流舎



正式名は素朴堂 草流舎
兎や獅子舞といった動物をモチーフにした
和紙作品を制作全国に販売している

【質疑応答】

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。1つ質問なのですが、伝統工芸品について、その存在そのものを伝えたいのか、なにかピンチがあるから使ってほしい、買ってほしいなのか、こういう技術をもとにして作られているから伝えたいのか、どういった理由で伝えたいのか具体的に教えてほしいです。

ゑん

ご質問ありがとうございます。私たちとしては、伝統工芸品について知ってもらいたいですし、ピンチがあるから使ってほしいと考えています。これを見てもわかる通り、伝統工芸品は落ち込んでい

る、伝統工芸品というのはその県の文化に気軽に触れられるものであり、文化自体を表すものだと考えているため、私たちは伝統工芸品に対してこのようなものがあるのかと知ってもらいたいと考えています。以上になります。

青木晴楓委員

ありがとうございます。

古谷愛夏委員

発表お疲れさまでした。ワークショップについて、県外に焦点を当てているのであれば、SNS運用などが1番早い手段であると思うのですが、SNS運用は考えられていますか。

えん

はい。ご質問ありがとうございます。私たちも同じように考えていて、私たちは実際にInstagramを用いて、今の伝統工芸品に対する紹介や、伝統工芸品を用いた活動をしているアーティストさんなどの活動をまとめて投稿したりするなど、県外の人にも気軽に活用してもらえるような運用を考えています。以上になります。

古谷愛夏委員

ありがとうございます。

青木琉美菜委員

発表お疲れさまでした。ワークショップを、クルーズ船が訪れる日程にすると書いますが、クルーズ船ってやっぱり外国人の方が多いと考えていて、英語表記にすることなどを予定していますか。

えん

ご質問ありがとうございます。はい。実際に私たちも英語表記を用いたいと考えていて、実際にこちらのメンバーの岡田さんが海外の観光客の方に対して、英語で商品の説明をするなどの活動を行っているので、そちらで培ったノウハウを用いて、私たちも伝統工芸品について、より深く、外国人の方でも知ってもらえるような展示を行いたいと考えています。以上になります。

青木琉美菜委員

ありがとうございます。

宇賀みくもさん（司会）

他に質問はありませんか。それでは、運営の方にもしかしたら後で怒られちゃうかもしれませんが、この機会にやってみたいことがあって、団体の方から審査員を指名してもらってもいいですか。



えん

では、岡崎さん。お伺いしてもよろしいでしょうか。

岡崎倫太郎委員

発表の質問じゃないけど、なんでこの団体名にしたのですか。

えん

実は発表の中で言いたかったんですけど、めちゃくちゃいい質問ありがとうございます。実はこの「えん」っていうのは、もともと漢字で「縁（えにし）」と書くように、いろんな方とつながりを持ちたい、という意味であったり、実はこの「えん」っていうのは、恵み、恵まれる、私たちの総体、この活動を通していろんな方に恵み、恵まれたい、いろんな方との縁を持ちたい！と思ってこの活動名にしました。ご質問ありがとうございます。

宇賀みくもさん（司会）

いい質問をしましたね。意思の疎通ができたみたいで良かったです。



発表団体⑪久重 natural チーム

(活動テーマ：久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！② ～SDGsで持続可能なまちづくり～)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



礼。「久重地域を元気にしたい！」「里山の魅力を地域内外に発信したい！」と活動している、久重 natural チームの小・中・高生です。

今年のテーマは『久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！②～SDGs で持続可能なまちづくり～』

昨年に続き2年目の活動で、地域の大人を巻き込んで一緒に、SDGsの「住み続けられるまちづくりを！」に取り組みます。

これまで私たちは、地域の人とつながる楽しさを感じてきました。もっとつながろう！と、今年4月、久重地域連携協議会にこどもだけの部会ができました。今年は、久重地域連携協議会、防災の会、里山まつりの会にこどもも参加し、意見することで、大人とこどもが一緒に「久重のまちづくり」を考えています。

できあがったばかりの「久重のまちづくり計画」の冊子も参考にしていきます。

今年の大きな取り組みは、10月の久重地域の防災イベントへの参加です。

災害で山道が通れなくなっても、地域の人々と乗り越えられるよう、地域の人とも仲良くなり、小・中・高生で縦のつながりを作りたいと思っています。

お菓子ポーチ作り、段ボールベッド、汲み取り式マンホールトイレの使い方、パッククッキングを、事前に講師の方から学び、10月の防災イベントで小学生に、中・高生が教える計画を立てています。

これまで私たちは、地域の方に里山の楽しさを教えてもらいました。今度は、私たちが次の世代の人たちに、久重のわくわくする体験をさせてあげたいです。



今年の6月には、「里山歩きとホタルのタベ in 久重」に参加してくれた、小学生の親子と一緒に、里山を歩き、野草を探して、交流しました。

見つけた植物でビンゴゲームをしたり、夜はホタルウォッチングをしたりしました。久重 natural チームのホタル保全の取り組みも知ってもらいました。

今、ドラマで牧野富太郎先生が話題になっていますが、私たちも身近な野草に親しんできました。今年は、久重の植物に詳しい、「土佐植物研究会」の 細川公子先生に、久重のめずらしい植物や「秋の七草」、タンポポ調査を教えてください。地域の方にもご案内をします！

これで発表を終わります。礼。

【質疑応答】

山本稜平委員

発表お疲れさまでした。ちょっと僕が単純に思ったことというか、聞きたいことで、この中で一番年が低い方は誰でしょうか。（久重 natural チームから手が上がる）じゃあ、えっと、この活動の中で楽しいと思ったこと、どんなものがありますか。

久重 natural チーム

さっき発表したように、草のビンゴゲームが（楽しいです）。

山本稜平委員

ありがとう。活動を通して地域外にも久重地域のことを広めていってもらえたらと思います。ありがとうございます。

宇賀みくる委員

活動内容に、12月が何も無いのですが、12月は何をしますか。

久重 natural チーム

1月に七草フェスタがあって、その時に私たちは七草がゆを作るお手伝いなどをさせていただくので、12月はそれに向けての準備期間や話し合いをします。また、これまで4年間活動してきたなかで、星空観察会をよく行っていたのですが、昨年度できなかったのが今年はしたいと思っています。

宇賀みくる委員

ありがとうございます。

高橋奏委員

活動の計画の中に防災士の資格取得とありますが、小学生から高校生までいる中で、誰が何人くらい取る予定なのか教えてほしいです。



久重 natural チーム

防災士の資格は全員で取る予定ではありませんが、これからの活動で、防災士の資格がある方がこれからの防災で役立つと思いますし、取ろうと思った人が個々で取ろうと思っています。

高橋奏委員

ありがとうございます。

発表団体⑩ こくささいず（活動テーマ：Exercise×地域共生社会）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



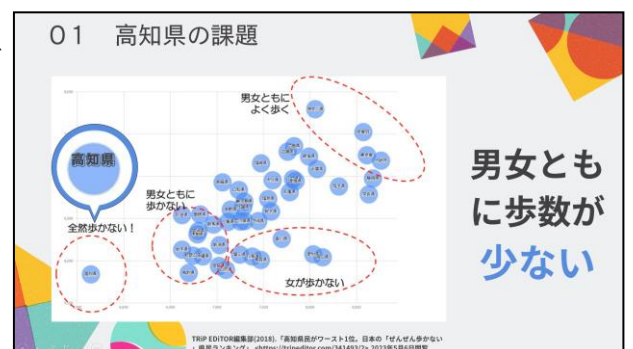
みなさん、こんにちは。わたしたちは「こくささいず」です。

突然ですが、高知県は「全国で1番〇〇しない県」と言われています。①歩かない ②病院に行く ③地域交流する、正解は①の歩かないです。

これは、縦が女性の歩く歩数、横が男性の歩く歩数です。縦、横ともに歩く歩数の値が小さい高知県は、男女ともに歩く歩数が少ないです。すると、日常の運動が足りず、生活習慣病や肥満などの不健康につながっています。

そこで、私たちこくささいずは、活動の目的として高知県民の運動の習慣化を目的とします。

運動を習慣化することで、健康の維持、メンタルの安定、運動不足の解消、この3つを目的とします。



そして、このプロジェクトの対象者は、県民の皆さんです。もちろん、こども審査員の皆さま方も含まれます。

2つ目の目的として、スポーツを通じた地域共生社会の実現を目指しています。開催する予定の様々なスポーツで、様々な方とのつながりを深めたいと思っています。

アダプテッドスポーツとは、こどもや、女性、障がい者など、様々な情勢の方が参加できるスポーツのことを指します。そして、私たちはこのアダプテッドスポーツを通してワークショップやイベントを開催する予定です。

次に、ワークショップの概要です。アダプテッドスポーツをテーマに、目的別にブースを分け、休憩を挟みながら、スタンプラリー形式でスポーツをしていくという流れになっています。

次に、ワークショップの概要図です。今回のワークショップでは、6つのスポーツのブースを用意する予定です。主にできるスポーツとしてライフル射撃、マイナーなスポーツとしてスポーツスタッキングなど、異なる目的のスポーツを設けています。

また、空いた真ん中の中心のスペースでは、お客さんが休憩と、運動習慣化の啓発活動を受けることができるためのスペースを設けています。

このようなブースを設けることにより、全ての人が運動、スポーツを感じられるようになっていきます。

審査員の方々も、わたしたちの一員となって、高知県民のために、私たちとスポーツしましょう！
Let's こくささいず！

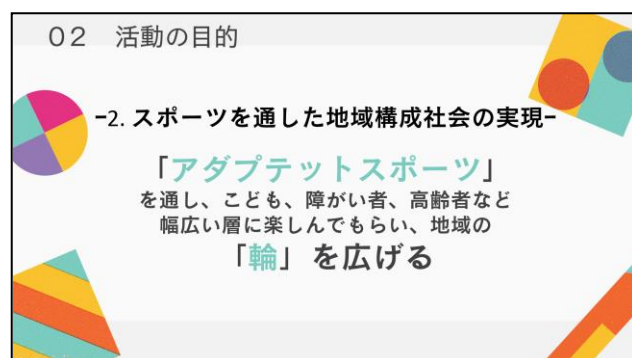
【質疑応答】

古谷愛夏委員

発表お疲れさまでした。イベントの参加人数の予定に 60 人とありますが、60 人集まらなかった場合は、どのように考えていますか。

こくささいず

まず、60 人は絶対に集まります！僕たちが所属している国際高校は、高知県の東部の安芸から、西部の佐川・須崎などいろんな生徒が集まっています。その人たちから、フライヤーやチラシなどの情報をばらまくことによって、もっと多くの方に来てもらえることが分かります。



それに加えて、老人ホームや、ゆうゆうクラブ等の僕たちに協力してもらっている人たちにも協力してもらうことによってもっと来ます！何なら、100 人来ます！

古谷愛夏委員

ありがとうございます。

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。今回、障がい者や高齢者の方もイベントに参加されると思いますが、そういった方々って怪我をする可能性も高いじゃないですか。それを防止するために何か考えられていたりしますか。

こくささいず

質問ありがとうございます。まず、怪我に対してなんですけど、私たちは 5,000 円の定額プランに入っています。参加された方はもちろん、わたしたちスタッフも含めて1つの怪我にあたり、1人 50 万円、1つの事故に対して上限 5,000 万円まで保障することができます。また、この怪我に対して、施設の保証は入っていないのですが、雑費の 15,000 円のうちの 1 万を使って保険に入ります。また、私たちがしっかり監視するので、絶対に事故は起こさせません。ありがとうございました。

青木晴楓委員

ありがとうございます。

岡崎倫太郎委員

こくささいずという名前は少し言いづらいです。なんで「こくさいず」にしなかったのですか。

こくささいず

はい。質問ありがとうございます。「こくささいず」というグループ名にした理由は、メンバーが全員国際高校生ってということと、運動の啓発活動を目的にしているので、「Exercise」と「国際」をかけて「こくささいず」というグループ名にしました。

岡崎倫太郎委員

ありがとうございました。

【劇とパワーポイントを使ったプレゼンテーション】



ボラッセイ：やあみんな！僕は城西中のマスコットキャラクター「ボラッセイ」だよ！みんなは城西中のことをどう思う？

生徒：「先生と生徒の仲がいい！」「制服の種類がたくさんある！」「ボランティアデーがある！」

ボラッセイ：たくさんいいところがあるよね！僕の名前は、ボランティアの「ボラ」と城西の「西（セイ）」を合わせて「ボラッセイ」になったんだ。でも、最近はコロナのせいで、地域と関わる機会も減ったね。それに、地域の方は城西中のことをあまりよく知らないんじゃないかな。

生徒：そうかもね。だって城西中のある大膳町は、実は城西の校区じゃないから、地域の方は城西中に入ったこともない人が多いみたい。こんなにたくさんいいところがあるのにね。

ボラッセイ：そうなんだ。でもぼくは、もっともっと地域の人に城西のことを知ってもらいたいんだ。どうやったらいいかなあ？

生徒全員：う～ん。

生徒：あ！みんなが集まれるお祭りとかいいがやない？

生徒全員：いいね～！

生徒：ということで、わたしたちはOne For All In 城西中 というチームを結成しました。そこで、私たちは1つの活動テーマを決めました。

生徒全員：一笑千金 ～城西校区に笑顔を～

このテーマは、笑顔はお金じゃ買えないからこそ、私たちは地域の人や生徒の笑顔が見たいと思いました。そこで、私たちは城西中の近くにある升形商店街の人に協力してもらい、出店してもらうと計画しました。

それだけでなく、自分たちで出店を運営しようと考えました。また、地域の方も関われるビンゴ大会なども開催しようと思いました。

そもそも、地域とつながりたいと考えた理由には、城西中が建っている校区はもともと城北校区で、地域の方の出身は城北校区で、災害時の避難場所は城西中なのです。

ですが、地域の方で城西中に来たことがない人は、城西中の職員室や図書室、トイレの場所が分からないといった意見が寄せられました。

しかし、このイベントを通して地域と城西中が親しくなれば、災害時に地域の方は速やかに避難できるだけでなく、学校を中心とした防災活動やイベントに参加しやすくなります。

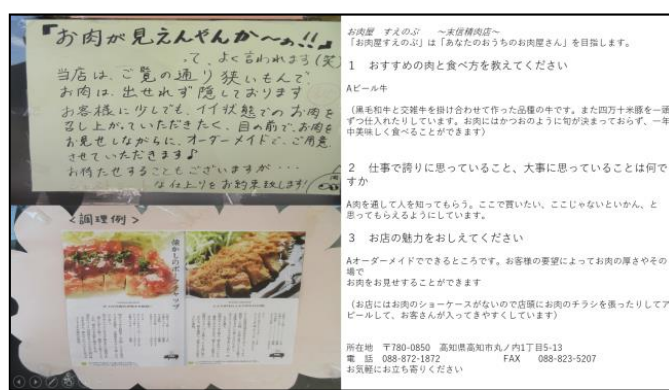
また、イベントに参加して下されば、升形商店街さんを紹介するフリーペーパーを作成し、配布しよう計画しました。

こちらを見てください。今回例として2店舗を紹介するフリーペーパーを作成しました。お店の写真と魅力を掲載し、お店に親しんでもらえるよう作成しました。



イベントまでにフリーペーパーを！
生徒に商店街に親しんでもらうためにお店の情報や
魅力を盛り込んだフリーペーパーを作成しよう！
生徒だけでなく・・・

城西中学校の近くに住む地域の人々
旭東小学校
第四小学校
第六小学校
とかにも配ろう！



このように準備をして、9月17日本番を迎えられるよう準備を頑張っていきます。

生徒全員：応援、よろしくお願いします！

【質疑応答】

山本稜平委員

発表お疲れさまでした。プレゼンテーションを聞いていて、とても最高だと思いました。

One For All in 城西中

ありがとうございます。

山本稜平委員

単純な質問なのですが、「One For All」というチーム名について、それは自分たちとしてなのか、地域としてのものなのかその由来について聞きたいです。

One For All in 城西中

もともと「One For All」は「一人はみんなのために」という意味ですが、「みんなの笑顔が見たい」という意味から、一人ひとりが力を合わせてみんなのためにこのイベントをやり遂げたいという気持ちを込めて、このチーム名にしました。

山本稜平委員

ありがとうございます。

青木晴楓委員

発表お疲れさまでした。このイベントを通して、地域に訪れたことのない人に学校を紹介するということでしょうか。そのイベントは体育館とか学校全体で行ったり、校内のここに〇〇がありますという説明をする機会があるかななどを教えていただきたいです。

One For All in 城西中

ご質問ありがとうございます。まず場所は城西中学校の体育館で実施したいと考えています。そのため、城西中学校側は校舎の中に地域の人が入る予定がないので、学校側のリスクが少なくなります。地域の方には、校内の地図や防災に関する案内板を設置したいと考えていて、防災に関する案内もしたいと考えています。

青木晴楓委員

ありがとうございます。



青木琉美菜委員

発表お疲れさまです。出店が射的とかスーパーボールすくいとかお祭りっぽいイメージだと思いますが、それが防災とどのように関連しているのか、教えてほしいです。

One For All in 城西中

ご質問ありがとうございます。まず、出店の方に関しては、イベントを通して地域と関わり、そこから防災へとつなげていくことを目指しておりますので、地域の方が楽しんでもらいやすい、城西中に入ってきやすいものを考えています。

青木琉美菜委員

ありがとうございます。

青木晴楓委員

すみません。もう1つ質問があって、活動の内容の表に10月以降イベント開催してどのような効果があったかを調査するとなっていますが、それ以外は特に何もやる予定はないのでしょうか。

One For All in 城西中

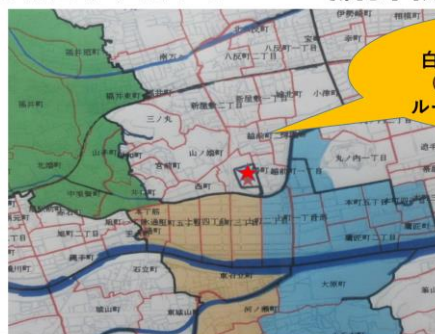
ご質問ありがとうございます。10月以降に、イベントに来ていただいた方へのアンケートで升形商店街に関心を持ったか等のアンケートを取って、それを集計して終わりにしようと思っています。

テーマに込められた思い

「**笑顔**」はお金じゃ買えない

だからこそ私たちは
地域の人と生徒の「**笑顔**」が見たい！

そもそも、なんで地域とつながりたいの？
実は城西中学校って・・・城北中校区に建っている！



★が城西中で、
白いところは校区外です。
(グリーン・イエロー・ブルーのところが城西中校区)

こども審査員による一次判断

評価ポイント

- ①こども中心で熱意を持ってできているか
- ②将来を見据えたある程度の計画が立てられているか
- ③チームとして個性をだせているか
- ④地域とつながりを持っているか



▲事前研修会の様子

No.	団体名	一次判断		
		いいね！	もう少し 質問がある	もうちょっと！
1	旭っ子記者クラブ	●●●●●●●●		
2	Mteens	●●●●●●●●	●●	
3	Lien	●●●●●●	●●●●	
4	高知清掃隊	●●●●●●●●		
5	Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	●●●●●●●●		
6	Team Petrio	●●●●●●●●		
7	Différent	●●●●●●●●		
8	土佐女子おれんじ flowers	●●●●●●●●		
9	ゑん	●●●●●●●●		
10	久重 natural チーム	●●●●●●●●		
11	こくささいず	●●●●●	●●●●●	
12	One For All in 城西中	●●●●●	●●●●●	

今年もたくさん応募いただきましてありがとうございます。
今回は 12 団体の応募ということで、過去最高の応募かなと思っていましたが、13 団体の年があったと聞きまして、2 番目に多い応募数ということになりました。皆様方に感謝申し上げます。

また、こうちこどもファンドも開始から 12 年目を迎えました。この 11 年の間で、皆様方への活動に助成総額が 1,100 万円を超えました。いつも卯月先生からも言っていただいておりますとおり、助成総額を上回る市民の方や民間の方々の寄附金があり、この 10 年間で 1,300 万円ほど集まっています。このいただいた寄附金は、直接的に皆様方の事業費に充てていますので、我々の市役所の予算というのはほとんど使っていません。市民の皆様方からの浄財が集まっているということを我々も非常にうれしく思います。

こどもファンドは全国的にも注目されていますので、今日も、後ろの方に埼玉県草加市の行政の方々が高知市まで視察に来ていただいています。多分、今日はこどもたちの熱意を相当感じたことと思いますので、草加市に帰ったら、うちもぜひやろうという話をしてくださると思います。全国で様々な連携をして、この取り組みが広がっていったらいいなと思っております。

今日も、素晴らしいプレゼンをしていただきました。全部は見れていないのですが、あまり原稿を見ずにきちんと答えられているのを見ると、活動目的や計画をきちんと理解できているから、答えられているのかなと、改めて強く感じたところでございます。

まだまだこれから皆さんとともに頑張りたいと思いますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

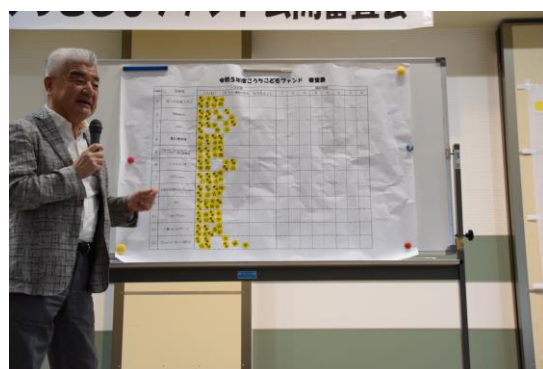


3 審査員による公開審議

【進行：卯月サポーター】

「もう少し質問したい」、「もうちょっと」がありますが、ほとんどが「いいね！」っていうところに入っていますので、僕もこれを見て、ちょっと安心しました。ただ、まだ質問があるので、この4つの団体についてだけ議論をしようかと思えます。

時間もちょっと押していることもありますので、全員が「いいね！」を入れているところは、少し議論を省略します。ただ、どうしてもって意見が、審査員からあれば、受け付けますので、このような方法でよろしいですか。（審査員一同賛成の上、公開協議に移る）



公開協議① Mteens

青木晴楓委員

高校生がターゲットということだったと思いますが、そこからどう地域に広げていくのかなってところが気になっています。

卯月サポーター

今のなんて言っているか（Mteens）分かる？



青木晴楓委員

なんて言ったらいいか、高校生のみをターゲットにするのであれば、その知識を高校生に伝えるだけじゃなくて、そこから地域に広げてもらう必要がある。そこに何かやっているのかな？と感じて質問しました。

卯月サポーター

高校生だけの活動ではなく、地域に広げるってことも一方である。で、保育園に行こうという話もあったけどね。（Mteens へ）さらに聞きましょうか。

高校生だけの活動ではなく、地域に広げるために、どのような考えを合併、あるいはどういうふうに対応しようと思いますか。さっきと同じでもかまいません。

Mteens

窓ガラス飛散防止フィルム貼りは、高校生が中心になって地域で活動したいと思っています。高校生って、実際に災害が起きた際にすごく活躍できる存在だと自分たちは思っていて、体力も力もあります。この活動では、高校生がこういうことをやっているよっていうのを地域に知ってもらうことから始めて、それを少しずつ地域に広げていきたいと思っています。



イベントも、私たち高校生が中心になって開催したいという思いがあるんですけど、まずは高校生に防災知識を付けてもらうことから始めようと思います。その経験がいざ震災が起きた時に実際に生きて、避難所などで中心になって動けるようになってもらいたいです。例えば、簡易トイレの作り方とかを高校生が知っていたら、災害時に活かせると思います。災害時の環境問題はすごく難しいと思いますが、そういう時に高校生が何かサポートできたらいいなと思っています。

そして、地域へのイベントに出店をさせてもらうことを通して地域に関わっていくと言えらと思います。以上です。

卯月サポーター

保育園以外でも希望があったところには、フィルムを貼りに行く可能性はありますよね。これ、どんなふうにアナウンスするのかな。窓ガラス飛散防止フィルム貼りを、どんな風に広報しますか。

Mteens

実際にフィルム貼りに行かせていただく保育園の場所は決まっていますが、学校で大人サポーターとして家庭科の先生が就いていてくださっていて、授業で保育園に行く機会があるなどその先生がかなり保育園と関わっているのも、先生の関わりのある保育園や、自分たちの出身の保育園、あとは保護者が保育園と関わっているメンバーもいるので、つながりのある保育園に行き活動していこうと思っています。

卯月サポーター

はい。わかりました。じゃあ身近なところから少しずつは広げていこうということですね。よろしいですか。

青木晴楓委員

はい。高校生が震災の時に実際中心になって動くという考え方はすごく素敵だと思いました。ありがとうございます。

公開協議② Lien

古谷愛夏委員

イベントの開催が12月で、チラシの配布が10月とあって、イベントまでの期間が空いてしまうとそのイベントの存在自体、期間が空くと忘れられたり、薄れたりすると思うのですが、なぜ2か月前に配布しようと思ったのでしょうか。

Lien

参加者の上限を70人って決めているのですが、それをQRコードとかの特設サイトを使って要望を募る予定で、まず、地域の小学校にそのQRがついたチラシを配布して、国際中学校のオープンスクールに来ていただいた小学生を対象に募集をする予定なので、集計や、人数の調整期間にしようかなって思っています。

古谷愛夏委員

ありがとうございます。

卯月サポーター

はい。少し余裕を見ている感じでということで、いろんな広報の手段がありますからね。では、山本委員。

山本稜平委員

はい。11月ぐらいに詳しく書かれているイベントについてちょっと疑問があって。この「多文化理解」を体験で知ってもらう活動にしているのだと思うのですが、体験ばかりで伝えたいことは何なのか。

それともう一つ、「英語」のテーマもあったので、これも加わると、人に伝えづらいんじゃないかなと…。すみません。伝わりますか。

Lien

目的が二つあって、「多文化理解」と「英語」が重なりすぎているっていうことですか。

山本稜平委員

何というか、イベントに英語もあると重なり過ぎて…。

卯月サポーター

イベントに対して体験が多すぎて、イベントに追われちゃうっていうんじゃないかなっていう話でしょうか。

山本稜平委員

はい。

卯月サポーター

だから、イベントが目的ではない。イベントは手段だ、ということでよろしいですか。

Lien

はい。目的として、英語に対して楽しいって思ってもらうっていうことが主なので、その手段としてこういう体験型のイベントを通して、小学生たちに楽しいと思ってもらう場を作りたいと思っているので、イベントとしては、体験が多いってなってしまうのも、必然的じゃないかなって。

山本稜平委員

ちなみにですが、自由記入コーナーの欄に、メキシコやアメリカが書かれていると思うのですが、ほかにもブースを出すと思うのですが、英語のブースが少ないんじゃないかなって。

Lien

自分たちは「多文化理解」が目的なので、アメリカとかメキシコとか、国に分けて考えているわけではなくて。イベントで英語を使うっていうのは、地球で共通言語として使われているのが、英語が多いから。英語話者が多いので、英語を媒体に多文化理解につなげていけたらいいなと思っています。英語が少ないって思っちゃうかもしれませんが、今さっきやったように、ダックダックグースっていうのはイギリスのこども遊びになっていて、イギリスも英語を使う国なので、そういうところに関しては、英語を仕入れることができるのではないかなって思います。

山本稜平委員

ちょっと難しい質問ですみません。ありがとうございます。

卯月サポーター

イベントが目的ではないとしたら、イベントも色々な種類があって、英語なのか、多言語なのかを少し精査してもいいかもしれないね。目標とかはよく分かる。具体的に細かく言うと、まだまだかもしれない。検討が必要かもしれませんねというのが、意見だと思います。青木さん。

青木晴楓委員

さっきの時も聞いたのですが、英語って大分敷居が高いので、楽しいイベントを用意していても、小学生にチラシだけで楽しいよって言っても参加しようかなって思うにはハードルが高いと思うのですが、そういう広報の面で何か、こういうことに気をつけたいとかっていうのは考えていたりしますか。

Lien

国際中学校のオープンキャンパスでは、そのキャンパスに参加して、広報活動することは可能だと思うのですが、地域の小学校で配布となったときに、そういった面での問題が出てくると思うので、地域の小学校にチラシを配布しに行った際についでにという形にはなりますが、一緒にイベントの広報活動や魅力を伝えていって、小学生が意欲的に参加できるようなイベントにしていきたいなと思っています。

卯月サポーター

多分、国際中学校・高校に来て欲しいっていう気持ちも大きいし、外に出ていって、もっと宣伝するっていうその両方のバランスをもうちょっと考えた方がいいんじゃないかなっていう、僕はそういうように受け止めましたけど、いいですか。

青木晴楓委員

はい。けっこうチラシでの広報って難しいと思ったので、質問半分、アドバイス半分で聞いていただけたらと思います。ありがとうございます。

卯月サポーター

そうですね。はい。ありがとうございました。

公開協議③ こくささいず

高橋奏委員

さっきの質問で、60 人来なかったらって聞いたのですが、逆に、100 人以上来たときはどうしますか。

こくささいず

一応、人数が多くなりすぎて、（最大）想定人数の 120 人以上超えた場合は、ブースごとで人が偏ったりすることがあると思うので、そういうところを見つけて、このブースに移ってからまた帰って来てくださいみたいな、その整理が運営メンバーや、ボランティアの方々に回したらいいなっているのは思っています。

卯月サポーター

それだけのスタッフがいると。

こくささいず

はい。います。

高橋奏委員

はい。ありがとうございます。



古谷愛夏委員

こくささいずさんの会則を読んでいて、役員のところが全員大人になっていたのですが、そこに対して何か意図があったりしますか。

卯月サポーター

今、話しているのは会則の会長・副会長・会計全部が大人になっているということですが、どうですか。

こくささいず

全員大人にはなってはいるのですが、運営や実際に進めていくのはこども主体で、大人が介入してきて、大人が中心で運営するという意味では全くないです。

卯月サポーター

これは、市役所の問題で、こうしてくださいという指導があったのでしょうか。

市役所（担当）

様式を事前に渡していて、それをもとに作成してもらっています。

卯月サポーター

大人である必要はないということですね。では、山本委員。

山本稜平委員

活動の11月の部分を見ると、宣伝にかなりの量があって、アポが取れなかったり、かなりの時間がかかると思うのですが、疑問があって質問しました。

卯月サポーター

はい。分かりますか。時期的に1か月では厳しいのではないかとこの質問です。

こくささいず

11月に宣伝という風を書いてあるのですが、別に宣伝は11月からするのではなく、9月ぐらいから協力団体をお願いをして、9月～12月の間に宣伝をするので、こだわりはなくて、徐々にしていこうと考えています。

山本稜平委員

分かりました。負担がないなら、別に大丈夫だと思います。もう一つ質問があって、僕も実際にやって思ったのですが、Instagramとかで、告知する際に、投稿するとか、取り上げるだけじゃ、なかなか見てくれる人は、少ないんです。そういう部分をどういう感じで知ってもらおうとしますか。

こくささいず

Instagramはあるのですが、それ以外にもポスターチラシとかあるので、SNS媒体だけに限らずInstagramを見てもらえない可能性もふまえてチラシ・ポスターも配布しようと思うので、大丈夫だと思います。

山本稜平委員

あと、事前に出ていた質問で、Instagramの開設が8月は遅いのではないかなと思うんですけど、いかがですか。

こくささいず

はい。企画書の方では8月と書いたのですが、前々から8月は遅すぎるとメンバーの中でも意見が出ていたので7月に開設を考えています。

青木晴楓委員

運動を習慣化するというのが目的だとしたら、イベントだけだとその目的にはあんまり適してないのかなというか、もっと日常的に簡単な運動ができる機会を設けたり、例えばリーフレットを作成するっていうのも、イベントだけで配るのではなくて他のいろんな施設とか学校とか、いろんなところで配るとかをやった方が、より運動の習慣化っていう目的においてはいいのではないかなと思ったのですが、何か工夫をしたり、イベントだけに特化したりした理由があったら教えて欲しいなと思って質問させていただきました。



こくささいず

質問ありがとうございます。

学校とかいろんなところに、リーフレット配るっていうことも検討しているのですが、イベントでリーフレットを配ることに加えて、スライドにちょっと載せていましたが、本当にちゃんと運動を継続できるような活動をしていきたいと思います。

例えば、高知県内で開かれる運動のイベントの告知をしたり、私たちが自主的にイベントを計画して、その広報活動をしたりして、運動習慣ができるような、取り組みをしていきたいです。地域とのつながりを作っていきたいので、高知県にあるスポーツチームの方々とも連携して、運動の習慣化に関する活動もしていきたいなと思っています。

青木晴楓委員

ありがとうございます。もう一つ質問があって、さっき言われた LINE のオープンチャット機能があると思うのですが、お年寄りも対象にした中で、オープンチャットは結構使いづらいのではないかなと思います。あと普通に、私もあんまりオープンチャット機能を使ったことがなくて、比較的マイナーだと思うので、どうしてオープンチャットを選んだかとか、お年寄りの方に配慮した他の方法とかがあったりしたら教えて欲しいです。

こくささいず

ありがとうございます。LINE の利用率が一番高いことから、LINE にしました。そして、健康サポートというものがあって、お年寄りの方でも利用できる、高知県が提供しているものも活用していきたいと思っています。

卯月サポーター

聞いていて思ったのですが、初年度の活動じゃないですか。だからそれぞれ、これをやりたい、ああいうことも可能じゃないかって、けっこう盛りだくさんな計画になってきて、それ自体はいいと思う。やる中で、だんだんやりたいことが絞られてくるのかな。

こういうスポーツを、とにかく知ってもらおうということなのか、青木さんが言うように、少し継続的に体力増進とか、健康増進だっという形になると、どうしてもそのイベントの質も、やり方も対象の人たちが変わってくるじゃないですか。だから、テーマがすごく大きいということを認識した上で、初年度の活動ですから、ある程度この中で、少しずつ、もう少し議論して、絞っていくっていう必要があるのかなという、ちょっと聞いていて思いました。参考にしてください。

公開協議④ One For All in 城西中

岡崎倫太郎委員

このチームのキャラクターに質問です。なんで「J」なんですか。「Z」じゃだめなんですか。

One For All in 城西中

ご質問ありがとうございます。城西中学校の「城西」をローマ字にすると「J O S E I」なんですけど、頭文字が「J」なので、「J」になっています。

卯月サポーター

分かりやすかったね。

宇賀みくる委員

9月のお祭りのイベントは、校区外の人でも参加できるものなのか。

One For All in 城西中

ご質問ありがとうございます。城西中学校はもともと城西校区外に建っているので、近隣の地域の方をお招きしたいと思っています。目的は地域の人に城西中に親しみを持ってもらうことなので、あまり遠くに離れた校区外の方から参加してもらうことは考えておりません。

宇賀みくる委員

ありがとうございます。

古谷愛夏委員

活動の5月中旬から下旬に、すでに升形商店街に協力依頼をされていると思うのですが、そのイベントが開催できないとなった場合の代替案はあるのでしょうか。

One For All in 城西中

助成が受けられない場合には、生徒会執行部でこのチームを運営しているのですが、生徒の力のみでできる範囲で開催をしようと考えています。

古谷愛夏委員

ありがとうございます。

青木晴楓委員

質問があるのですが、このイベントの目的は、地域の人に城西中について知ってもらうことなのか、それとも、その地域の人と関わりを持つことなのか知りたくて、とりあえず学内を知って欲しいだけなら校内案内をして、防災としての観点から、何かアプローチをかけたらいと思うのですが。

イベントで、マップを配るだけで、実際に校内を案内したり、校内の行動を具体的に説明するわけではなくて、来た人がトイレなどの場所すら分からないっていうのは、問題を解決するのにはちょっと何か、どっちが目的なのかなっていうのが気になって質問をさせていただきました。

One For All in 城西中

はい。ご質問ありがとうございます。まず、学内の行動の詳細については、当初の予定であったら、地域の人に校舎内に入ってもらって、生徒がトイレや図書室などの案内をするというふうにやりたかったのですが、やっぱり学校側の安全とか、個人情報保護の観点からも、学校の中に入ってもらうのは難しいという判断で、学内の地図の配布や、案内板みたいなものを置いて、地域の人に「こ

こって、こういう風になっちゃうが？」と聞かれた時に生徒が受け答えするようなスペースなどを作ろうと思っています。

山本稜平委員

自分たちでイベントを盛り上げて行こうと考えたと思うのですが、団体の名前に「城西中」が入っていることから、学校の取り組みとして多分受けとめられやすいところ。

そういうところをどういうふうに差をつけていくかっていうのを教えていただきたいです。

One For All in 城西中

ご質問ありがとうございます。「城西中」と入っているのですが、私たちと地域の人がやっているよっていうことを発信してやっていこうと思っています。

山本稜平委員

分かりました。中身のことは分かったのですが、他の人にはどうやって分かってもらおうとしますか。自分たちとしては、そうやって地域の人とやっているということを分かっていると思うのですが、他の人にはどういうふうに差別化していこうと思いますか。

One For All in 城西中

外から見たときに、どう差別化して見てもらうかという質問だと思うのですが、自分たちを見て分かるとおり、今日私たちは升形商店街のハッピーをお借りしています。外から見たときに、例えばイベントに城西中の人たちが来ると思うのですが、僕たちがハッピーを着ているのを見て、なんかこの子たちは違うなって、そこで差別化が図れるのではないかなと思います。

卯月サポーター

山本君の心配も、若干理解できるのは、タイトルに学校の名前が入っているから、学校行事と勘違いされちゃうのではないだろうか。それはもったいない。だから、これからポスターとかチラシとか、いろんな案内をする中で、もちろん小学校でやることは事実だけど、あまり学校、学校っていうよりは、もうちょっと地域の方がそれを見たときに、地域のためにやってくれているのだろうなっていうふうに、理解しやすいような工夫もあった方がいいのではないかっていうふうに僕は受けとめましたので、参考にしてください。

One For All in 城西中

はい。

4 審査結果発表

審査結果発表 野村サポーター

皆さんこんにちは。野村と申します。それでは、審査結果の発表をさせていただきます。

※こども審査員の過半数（8名中5名以上）が助成すると判断した場合に助成決定。

	団体名	助成金額	得票数	助成可否
①	旭っ子記者クラブ	200,000	8	採択
②	Mteens	190,000	8	採択
③	Lien	200,000	7	採択
④	高知清掃隊	141,400	8	採択
⑤	Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	200,000	8	採択
⑥	Team Petrio	200,000	8	採択
⑦	Différent	200,000	8	採択
⑧	土佐女子おれんじ flowers	43,110	8	採択
⑨	えん	200,000	8	採択
⑩	久重 natural チーム	175,000	8	採択
⑪	こくささいず	191,680	5	採択
⑫	One For All in 城西中	200,000	6	採択

こども審査員とこども審査員サポーターとの話し合いの結果は、このとおりになりました。

みなさん、本当におめでとうございます！
1年間、頑張ってください。



こども審査員からの感想発表

【青木琉美菜委員から】

こども審査員の青木琉美菜です。皆さん、発表お疲れ様でした。そして、自分たちのまちをより良くしたいという思いを込めて、今回の審査会で、目標に到達できたチームであったり、新たな課題発見など人それぞれの思いや考えが、生まれたのではないかと思います。

ですが、一番大切なのは、こどもたちが主体となって、準備を重ねてプレゼンテーションを行うという勇気がある行動であると私は考えます。

まずは、勇気のある行動をした自分を褒めてあげてください。

そして、次のステップに向けた準備を進めていって欲しいなと思います。

次世代のリーダーである皆さんは、高知を変えたいという思いを伝えることで、想像以上に大人とか地域に、大きなパワーと元気を与えてくれます。

これからもこの地元愛を忘れずに、皆さんの地元である高知県のさらなる発展につながることを願っています。今日は、ありがとうございました。



畠中アドバイザーより一言

皆さん、お疲れ様でした。もう、先ほどの青木さんの後だと、何もしゃべれません。いや、本当に素敵な挨拶だったと思います。

とにかくホッとしました。全団体が助成を受けられたってということで、まず本当におめでとうございます。

防災のテーマが例年多いのですが、今年も結構あって、できれば Mteens さんと Différent さんと、それから久重もそうだし、NSP もそうですし、どこかで情報共有したり、それから一緒に何かをするっていうふうな行動がまた今年も生まれてくると面白そうだなっていうふうに思っています。

特に NSP さんならではの「俄（にわか）」を、ぜひ他の団体の皆さんに披露してあげて、他の地域の大人の人もその「俄（にわか）」を見ることで、結構感じることもあるのではないかなって僕は思っています。

それと、これから実際に活動が始まっていくと、実際には計画を立てた企画を立てたことと、また違った側面っていうか、困ったこととか、悩んでくることとか、きっと出てくると思います。

その時には、いつでも、またアドバイザーを呼んでください。

一緒に考えて、その壁を乗り越えていくことを一緒にやれるといいなという風に思っています。



それと、先ほど青木さんもおっしゃっていましたが、今日、いろんな審査員の方々から、質問とか意見がありました。それは、すごい提案型の質問とか意見がたくさんあったと思います。

それも皆さん方のこれからの活動でもう1回思い起こしながら、何かあったときには、審査会での意見や提案もあったから、ぜひここで取り入れてみようとかそういうことも積極的にやっていきながら、自分たちの活動をより豊かなものにしていただけると嬉しいです。

とにかく、これから頑張ってくださいまして3月の発表会を楽しみにしています。本当にお疲れ様でした。

岩村サポーターより一言

今年度、こども審査員サポーターとして、公開審査会に出席させていただきました岩村と申します。まずは12団体、本当に柔軟な発想で重要な発想で、強い思いのある熱い1日を一緒に過ごすことが本当にありがたくて、素敵な時間を過ごさせていただいたなと思っております。

私はですね、今年度はこども審査員サポーターということで、こちらにいらっしゃる8名の審査員の方とちょっと一緒に活動をしてきました。

実は、今日こども審査員さんが、初めてこの場に参加したっていう方もいらっしゃいます。



その方も、皆様からの熱い思いのこもった冊子を読み込んで、自分たちがどういう質問をしたら、どういう声掛けをしたら、それぞれの団体がもっと良くなるもっと活動に幅が広がるだろうっていうことを念頭に置いて、皆様のためになるような質問を考えてきたと思います。

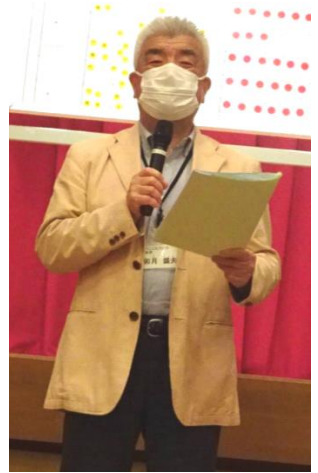
一人一人が本当に自分事として捉えて、一生懸命活動してきたということが、私は一緒に見ていて、とても素敵だなと思いました。

それを支えてくださったらやはり12年目という歳月が流れて、OBやOGや、それぞれの大人が関わって、このこどもファンドだなんて言われていることがすごくすてきな取り組みで、高知の未来って明るいな、高知のこどもたちってまだまだすごく元気があって、これから楽しみだなんて思うような、1日を過ごさせてもらいました。

これから、助成が始まって、きっと活動が始まって本格的になると思いますけれども、今思い描いている計画よりも、さらなるレベルアップをすることもあると思いますので、ぜひ、頑張ってくださいたいなと思います。今日は本当にありがとうございました。

今日は記念すべき日ですね。なぜならば、今年の3月にこどもファンドが10年を迎えて、10年の成果をみんなで共有する会を開催しました。その時に、この10年間の成果を冊子にまとめて、たくさんの方が書かれています。

そのうちの一つに、「こども審査員OB・OGにもっと高知で活躍して欲しい」。要は、小学生、中学生、高校生の時にこども審査員を体験して、大学行ったり、社会人になったり、ある人は起業したり、ある人は東京に行ったりと、バラバラになっちゃう。でも、そのこども審査員を体験した人達で、もっともっと高知でやって欲しいことあるんじゃないかって。たくさん書いてある



んですよ。でも、そのうちの一つに、この本日の公開審査会の運営進行をお願いできないかということで、今日、宇賀さんが最初から最後まで、本当に素晴らしい司会をやってくれたと僕は思います。途中ユーモアも交えながら、お気づきだと思いますが、あまり手を挙げなかった自分の妹に、「はい。何か質問ないの?」と。それも小学生がなかなか手挙げにくい中で、早く誘導していたりして。昨年まで司会は市役所の職員の方がやっていらっしゃったのですが、格段にうまい!

やっぱり、活動を申請してくれるこども、小・中・高の皆さん、それを支えているのは大人なのですが、でも審査する側、あるいは今日の進行する人、みんなこうちこどもファンドのために集まった、高知の人たちで運営されてきた、僕は今日このことが一番素晴らしいと思いました。

宇賀さんのように、司会できちっと話してくれる人もいたし、時計係の人もいるし、「次の進行は〜」って言って、あっち行ったりこっち行ったりしている人も、みんなこのこうちこどもファンドのこども審査員OB・OGでした。

彼らに、たくさんの期待をするのは、申し訳ないのですが。

でも、やっぱり彼らにも、もっと市政に提案をしたり、進行だけじゃなくて、もっと提案したり、皆さんの活動の現場に行ってアドバイスをしてくれたり、先輩として、そういういろんなことが、これから展開されると期待しているし、それが今日スタートラインに立ったので、とても嬉しい。

細かいことは、畠中さんや、青木さんが素晴らしい挨拶をしてくれたので詳しくは言いませんが、少しあげるとすれば、初年度の活動は、今年は比較的少なかったかなと思います。複数年度、2年目とか3年目の活動が比較的多かったと。僕はいつも申し上げたいのですが、やっぱり1年目ってなかなかわからない部分があるので、これもやりたい、あれもやりたいと、でも絶対だけど、本当に現場でたら、それが全部できるってことはない。なかなか厳しい状況あります。そういう活動がひょっとして、この中で、票がちょっと集まりにくかったとか、発表の環境にならなかったっていうふうに何となく思います。

逆に言えば、2年目、3年目の団体や、あるいは5年目ぶり、8年ぶりとかちょっと空白があって発表した団体は、プレゼンテーション自体は慣れていて、発表の中に、昨年こういう活動をして、そこで自分たちはこんな学びを得ましたとか、こんなふうに地域の方から、助言がありましたとか、そういうことまで含められていたんですよね。

2、3年目になると、経験をもとに、様々な活動の展開は、自分たちだけの思いではなく、ここにかかわり合う人達、まさに地域の方々の思いが込められています。

一つ事例を挙げると、土佐女子おれんじ flowers の活動などを今度は活動場所が「こども食堂」になり、地域からのご提案で、そこでやるのがいいのだろうという形になったのも、とても素晴らしいです。

それから、久重も地域は感無量でございますよね。だんだん拡大してきて、小・中・高の年代の違う子どもたち、それから地域の比較的高齢の方々とか本当に地域で一体になっています。最初はそこまで考えてなかったと関係者の方がおっしゃっていますが、1年、2年と積み重ねる中で、地域の中で信頼され、かつ、こどもたちも学ぶという素晴らしい新しい形になっています。ぜひ、複数年度に渡る活動から学ぶべき点がとても多いと思いますので、初年度として出してきた、他のグループの活動計画を見たり、あるいはせっかくここで知り合った仲なので、メールでも何か連絡をして、他の団体からからも学ぶということをぜひ続けて欲しいです。

来年の3月に発表会がありますけれども、その時までには、皆さんがどれだけ成長、計画ができたのか、あるいは予期しないことも起きるかもしれないけど、それをどう乗り越えてきたか、ぜひお話を聞きたいと期待しています。以上です。どうもご苦労さまでした。

資料編

- 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- 令和5年度公開審査会アンケート結果
 - ・こども審査員
 - ・応募団体向け（対象：子ども）
 - ・応募団体向け（対象：大人サポーター）
 - ・一般来場者

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があつたときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適当でないと認めたときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあつたときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものと

みなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

(助成金額の確定)

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めたときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

(助成金の交付請求及び交付)

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めたときは、助成金を交付するものとする。

(助成金の概算払)

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

(助成金の交付決定の取消し)

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

（整備保管）

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

（その他）

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 この要綱は、令和3年11月18日から施行する。

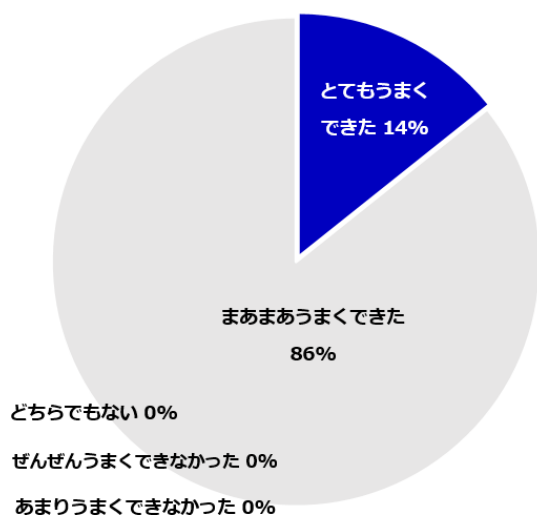
（経過措置）

2 この要綱による改正前の高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱の規定に基づく様式は、この要綱による改正後の高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱の規定に基づく様式にかかわらず、当分の間、なお使用することができる。

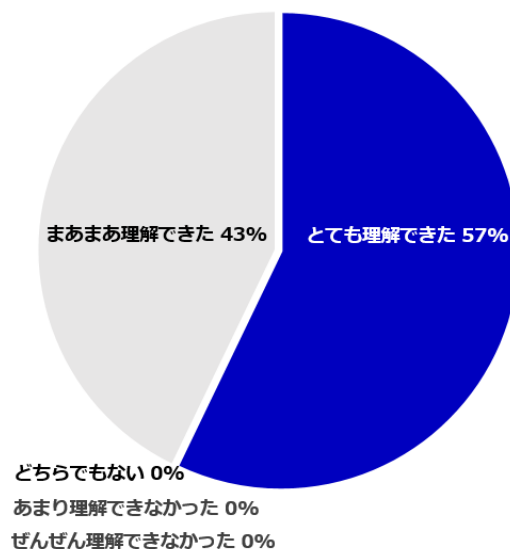
令和5年度公開審査会 【こども審査員アンケート】

アンケート回答数：6人

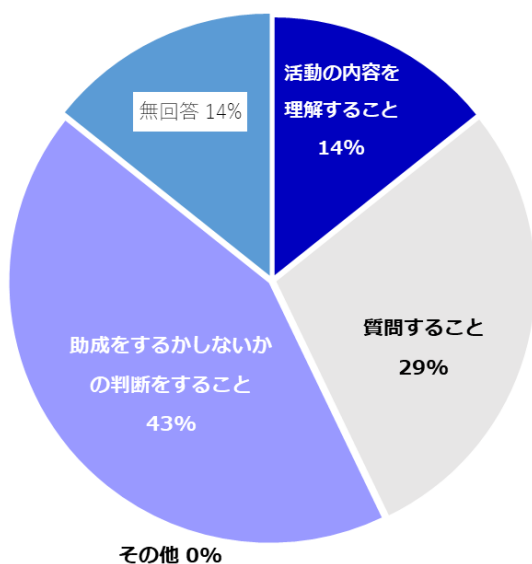
問1 発表はよく理解できましたか。



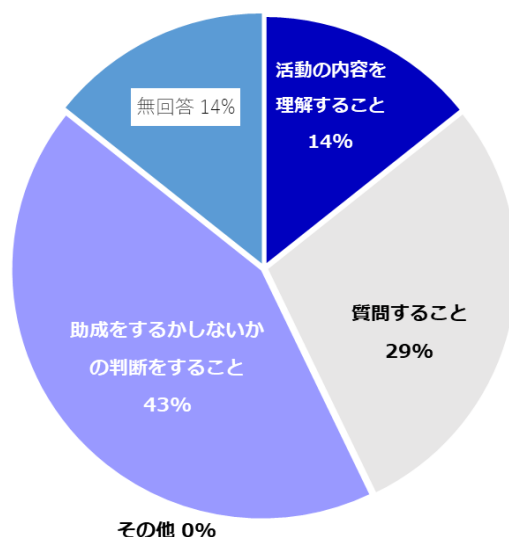
問2 質問はうまくできましたか。



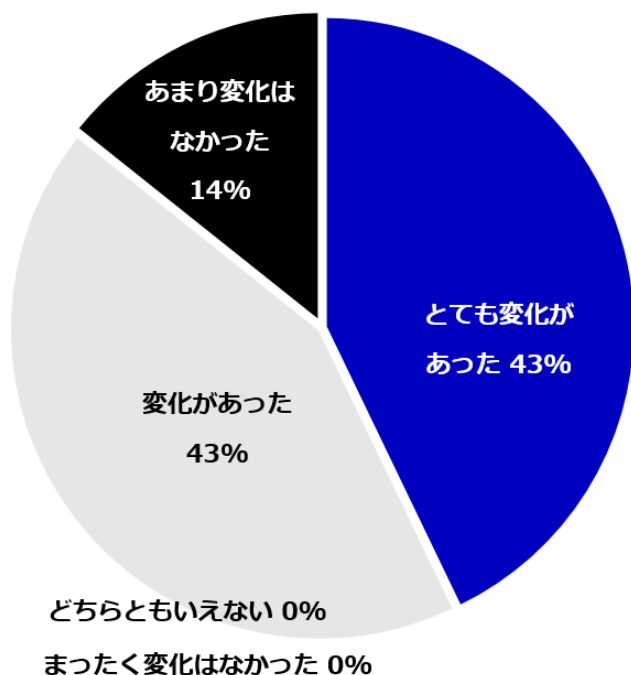
問3 もっとも難しかったのは何でしたか。



問4 また来年も審査員をやりたいと思いますか。



問5 審査員を経験して、自分の行動や意識に変化はありましたか。また、どんな変化がありましたか。



- ・地域の課題に取り組む世界中の人々をつなぎたいと思うようになった。
- ・この言葉にはどのような意味が込められているのかを意識して聞く事が応募者にとってもいい質問になることが分かったため、様々な工夫をこらすことが出来た。
- ・各チームを見て、まちづくりに対する思いがとても伝わった。自分ももっと活動をしていきたいと思った。
- ・物事の理解をするようになった。
- ・こどもの活動が知れました。
- ・団体のイベントなどに参加することも多くなり、詳しい活動内容が知れた。

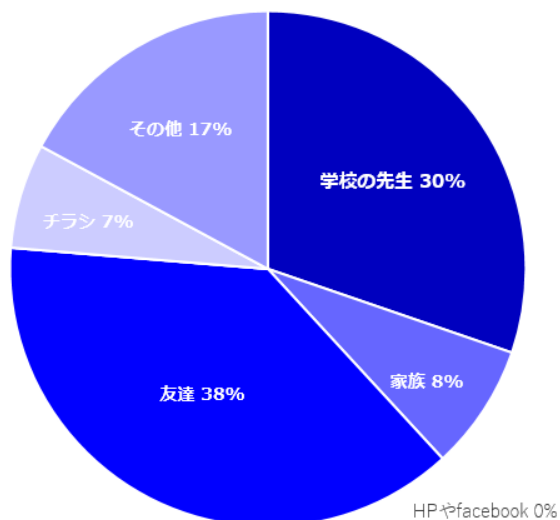
問6 審査員をやってみてどのように感じたか、また、本日の感想など自由に書いてください。

- ・今日の審査会は、12団体すべてが個性的な取り組みをしており、特にこくささいずは、今まででも珍しく運動に焦点を当てていてすごくおもしろい、新しい観点だと思いました。
- ・初めて審査員という役職につかせてもらい、可否を決めるための重い役職なのかと思っていましたが、あくまで各団体を応援するためだと聞き、高知のこどもの主体性をとても尊重されている活動だという事を深く理解することが出来ました。また、プレゼンテーションにおける内容も大切ですが、熱意が伴うことで人の気持ちを動かす事ができるという学びを得られたことが1番審査員に参加して良かったと感じたところです。これらの経験を生かして地域貢献のアイデアを考えたり、プレゼンテーションでの熱意の込め方などを将来につなげていきたいと思います。
- ・各団体、様々な発想が見えるプレゼンであった。とても聞きやすく、分かりやすいということが一番の印象だった。今年度は、全ての団体の活動を見て参加もできるといいと思った。
- ・楽しかった。
- ・楽しかった。様々な団体がいた中、12団体すべて合格だったのは審査員としてもうれしかった。
- ・たくさんの団体の活動を知れる機会があったので良かったです。
- ・年々、活動団体のレベルもあがってきていて、驚いた。報告会までの期間、こども審査員としても、イベントなどに参加していきたい。

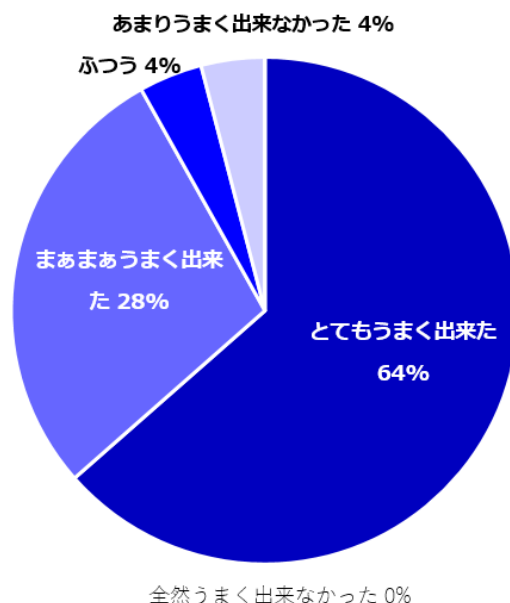
令和5年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：子ども）】

アンケート回答数：74人

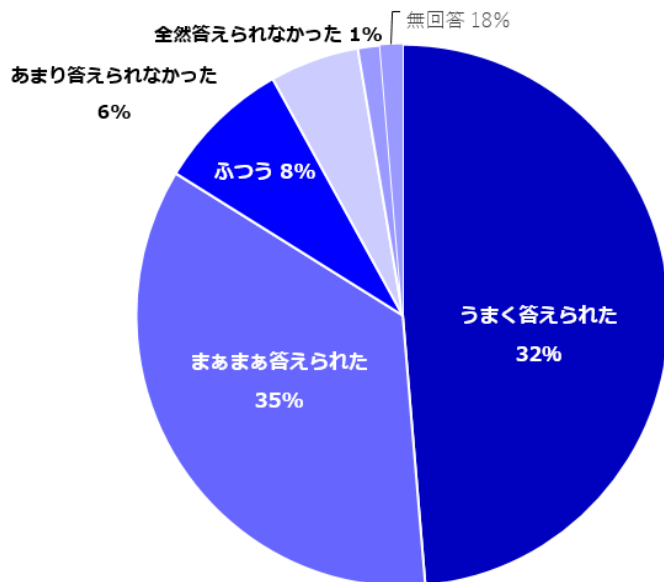
問1 こうちこどもファンドのことは
どうやって知りましたか。



問2 発表はうまくできましたか。



問3 審査員の質問にきちんと答えられましたか。



問4 他のグループの発表、質疑応答を聞いてどう思いましたか。

- ・ Mteens さんがとてもきれいに答えられていたと思いました。
- ・ 質問に対しての返しが上手だったから、グループ内でちゃんと準備してきているんだなと思った。
- ・ どのグループもたくさん練習したと分かるくらいクオリティが高くて質問もスムーズに答えていて良かったと思った。努力が伝わった。
- ・ 小学生の団体も、質問の回答をしっかり用意できていて、自分たちの活動を熟知できているし、そ

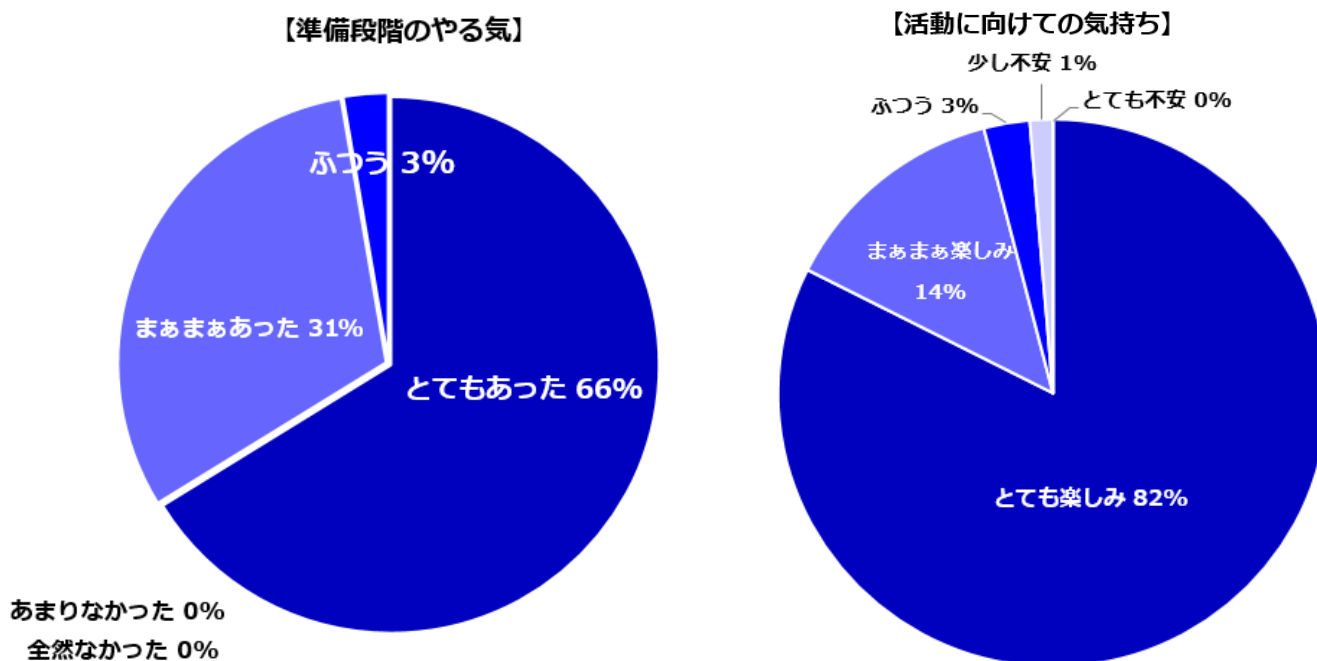
- のための話し合い・確認もしっかりできていて、良かったです。こども審査員さんも、司会の方から、質問を振られても、ちゃんと自分で考えて質問できて、スゴイ！
- ・ほかのグループも絵などを使って工夫していて、分かりやすかったです。そして、発想がすごいと思いました。
 - ・とても具体的に説明できていて、助成金がおりましたら、こうしたい！という意思があってよかった。
 - ・どこも丁寧な準備をしてきていて、団体ごとの特色も多く、とても面白かったです。例年通り、旭っ子記者クラブと久重 natural チームがとても可愛らしいです。
 - ・自分たちのグループが具体的にどのようなことをしていきたいのかがはっきりしているなぁと感じました。質疑応答に関しても、将来のことや計画について聞かれた時、すぐに説明できていて、計画性があるなぁと思いました。
 - ・それぞれのグループの伝えたいことが良く伝わってきました。順序よく説明できていたと思います。
 - ・事前に来る質問内容を予想して、準備をしていたみたいで、来る質問に完璧に答えられていることがすごいなと思いました。旭っ子記者クラブのやり方がとても可愛いらしいなと思った。
 - ・予想していなかった質問にもチームで協力して答えられていて、すごいと思った。様々な活動テーマがあって、興味が湧くものばかりだった。
 - ・スライドも見やすく、活動や目標についてもまとまって伝わりやすかったと思います。質問に対する応答も簡潔に素早くできていて、質問者の方も、聞く人も疑問が解消できていたと思います。
 - ・ハキハキと話していて、質問にもすぐ答えていたので、すごいと思いました。いろいろな発表の仕方があっておもしろかったです。
 - ・たくさんの企画を聞いて防災から、イベント系など色々なものがあって聞いていて楽しかった。
 - ・ストーリー形式で発表が進んだり、模造紙とスライドを活用して発表されていて、発表形式の種類が参考になった。
 - ・劇とか模造紙にまとめるなど、グループによって工夫の仕方が様々で面白かった。
 - ・それぞれ魅力的なスライドで、みんなやりたいという意欲が伝わってきた。
 - ・私たちの団体は、はじめての応募だったため、他グループの事前の活動がとても説得力があった。
 - ・みなさんしっかりと質問に答えられていて、とても良いと思いました。
 - ・プレゼン内容がしっかり考えられていた。
 - ・今年は12団体も応募があって、高知にはこんなにも自分たちの住む地域を良くしようと動く児童学生がいる事に驚きと感動がありました。テーマや活動内容も本当に多種多様でびっくりです。まちづくりのしかたは決して1つじゃないと改めて思わせられました。
 - ・良く考えられていてすごい。
 - ・そのグループごとの個性があり、おもしろかった。
 - ・発表：どのグループも今年の活動予定を詳しく発表できていてすごいと思いました。質疑応答：質問されたらすぐに誰かが手を上げて応答できていたのがすごいと思いました。

- ・質問されたら、すぐに答えていて、すごいなと思いました。劇みたいなのを入れているチームがあって、分かりやすく、見ていて楽しいなと思いました。
- ・みんな上手に発表できていた。
- ・みんな、分かりやすく、はっきりと、発表できていた。
- ・上手くできていた。
- ・他のグループはコミュニケーションや Youtube、防災のことについて発表していることが分かった。
- ・発表がまとめられていて、スムーズにできていていいと思います。
- ・良い発表、鋭い質問。子どもとは思えない。
- ・似たテーマも多く、同じテーマで、どう特徴を出すか。地域は同じなので、ブースとかで出す？
- ・全体的に発表（プレゼン）については、とても準備がされていて緊張している様子もなくスムーズに進んでいたと思った。質疑応答については、私は質疑応答をしていないので言えたことではないのだが、グループによって準備ができているところとできていないところがあった気がした。
- ・どのチームもすばらしい発表ができていて学びの多い時間となりました。
- ・各グループ、自分たちのしたいことに情熱を持って話していたので、審査員の方々に思いが伝わっていたと思う。
- ・自分たちと違って、本当によく考えられていて、見通しや熱意がすごいなと感心したとともに自信がなくなりました…原稿を見てでも、ちゃんと言った方が良かったかも。（反省しました）
- ・昨年から活動が続けている団体さんが多く感じられた。レベルが上がっていたり、しっかり受け答えができていたと思った。
- ・マスコットキャラクターや、遊びの実演など生き生きとしていて良いなと思いました。
- ・チーム（グループ）ごとに防災から動物愛護まで幅広い内容があっておもしろいと思いました。
- ・小学生でも関係なく質問が鋭い。こどもならではの直球の発表、言葉があって楽しい。
- ・レベルが高い、けど地域とのつながりが弱いのではないかと思った。
- ・質問にスムーズに答えたり、はっきりした声や、衣装などにもこだわっていた点が、とても良かった。
- ・詳しくを問う審査員が多くいたように感じたので、想定質問をいくつか考えておく必要があった。また、コスチュームで気を引くチームのアイデアが面白い。
- ・地域の人とかかわるのはもちろん、人を守るということも含め、発表していた。
- ・実際に劇をやってみたりもしていた。
- ・見ている人に分かりやすく画像などを、使っていた。
- ・しっかり細部まで理解し、発表会、質疑応答を受けていた。
- ・質疑応答でスラスラと答えている所はとてもよく見えて、また、複数人の人が答えていることにより、一人一人が行うことをしっかりと理解していることが分かりました。

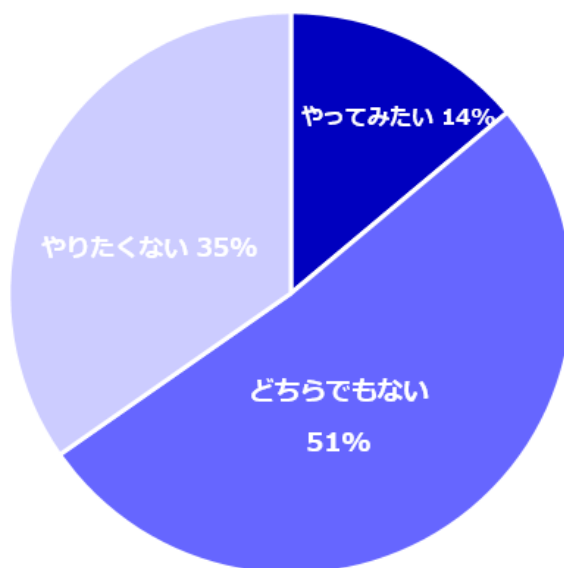
- ・発表の時に声をはっきりと出している所は、聞きやすく自分達が大切にしていきたいことなどが分かりやすく感じた。
- ・その発表に合った衣装を着たりしているグループがいて、発表に興味を持てた。質問の対応をちゃんと対策してあって、スムーズに答えることができていた。
- ・実際にやってみるなど審査員さんにわかりやすくて良いと思った。(Lien さん)
- ・見やすいように紙をもっていて分かりやすかった。(高知清掃隊さん)
- ・みんなスムーズに答えられていて、スライドも見やすく食いつきやすい、引き寄せられるようなプレゼンになっていた。(全団体さん)
- ・声をはっきりして聞いて聞きやすかったし、インスタなど SNS を利用できていていいと思いました。(Différent さん)
- ・プレゼンをするときの工夫がそれぞれ違って、聞いていておもしろかったです。質問をされて、焦らず、丁寧にくわしく応答をされていてすごいなと思いました。
- ・それぞれのグループの発表は内容がしっかりまとめられていて、質疑応答にも実際に前でやるなど工夫が見られたと思いました。
- ・すらすら言えていたり、衣装も違うところがあって。それぞれの個性がでていたり、SDG s を意識していたところが、とても良い発表会(審査会)だったなと思いました。
- ・丁寧に答えられている部分もあり、準備されているんだなと思った。また参加、協力してもらいたい団体が複数団体あった。
- ・みんなそれぞれしたい目標に向けてしっかりとプレゼンができていて、とても熱意が伝わった。質問にも淡々と答えられていた。
- ・ほとんどのチームはすぐに答えられているけど、ときどき仲間と顔を見合わせてから答えているチームがいて、ハキハキしゃべりだしたらもっと良いプレゼンになったと思う。
- ・どんな質問にも頭の中で整理し、すばやく口調も丁寧に言えており、ものすごく良いなと思いました。
- ・どのチームも何も答えず黙っていることがなかったので、それもすごいと思いました。
- ・質問にちゃんと答えられてすごいと思いました。プレゼンもちゃんと細かく説明できていて分かりやすかったです。
- ・はきはきしゃべれているグループと、つまってしまっているグループがいた。審査員の人も、もっと質問をしないと、発表者が不安になるとおもった。
- ・私たちにできないような発表もあり、楽しかった。また参加してみたい内容もあり新鮮だった。
- ・同じ防災というテーマで活動している団体を知ることができて、自分たちの学びにもつながった。さらに、発表スタイルも様々で、刺激をもらうことができ、自分たちも頑張ろうと思った。
- ・どのグループも目的をしっかりと持っていて、自分たちと同じような目的のグループもあったので、とても刺激になりました。

- ・グループの中で何回も話し合いをして、こども中心に活動ができているように感じた。
- ・発表自体を楽しめるような工夫があったり、審査員からの鋭い質問があったりと様々なアイデアを知れる場で興味深かったです。
- ・良かったね。
- ・質疑応答をみんなつまらずに発表できていた。
- ・ハキハキ言えていたり、質問のことをよく考えていることが分かりました。
- ・大人っぽく発表していた。グラフとかを詳しく出していて分かりやすかった。
- ・それぞれ何をしたいかがはっきりしていて、分かりやすかった。
- ・よく分かった。
- ・こどもとは思えないくらいしっかり自分の考え・意見をもっていてすごいなと思いました。
- ・明るく楽しそうに発表していたので、すごいなと思いました。質疑応答もされた質問に対して、的確に答えられていたのですごくいいです。
- ・どのグループもそれぞれの個性があり、質疑応答に対しても、すごく堂々と発言されていたことが見ていて面白かったです。

問5 「審査会発表に向けて準備をしているときのやる気」、「プレゼンテーション後、活動に向けての気持ち」として当てはまるものはどれですか。



問6 こども審査員をやってみたいと思いますか。「やってみたい」または「やりたくない」を選んだ方は、その理由もお書きください。



【やってみたい理由】

- ・質問のときに、もっと自分から発表して、5分間にたくさんのことが聞ける自信が私にはあるからです。また、今回、別のグループの質問を、まだ聞きたいことがあるのに質問できず終わったのが残念だったからです。
- ・高知県の色々な活動を知れる良い機会だと思う。また学生の高知に対する思いも知れるのが良い。
- ・今回は活動する側として、参加したので、審査する側としてもこどもファンドに関わってみたいと思った。
- ・色々なグループのまちづくりに対するアイデアを聞けて楽しそう。
- ・ファンドの長期間でなく、数時間で得る、運営の楽しさがありそうだから。
- ・参加してみたい活動がたくさんあったので、審査員だと参加しやすそうだったから。
- ・もっと掘り深めて、高知を良くしてくれる団体に協力したい。
- ・来年は高校3年となり、自身が活動することが難しいため、審査員という形でこどもファンドに関わっていきたい。
- ・人の意見を聞いてまとめるのが得意だから。
- ・いろんなグループの発表を聞いたり、質問してみたいと思ったからです。

【やりたくない理由】

- ・質問ができそうにないからです。
- ・中学校から高校に上がってスケジュールが変わったからそこに慣れてない。忙しくなくなったらやりたいです！！
- ・自分は質問や感想を考えるのが苦手なので審査員は向いてないと思ったから。

- ・その発表を聞いて、質問を考えたりするのが難しそう。指名されるのは強制感があるのでやりたくない。
- ・活動・学業でかなり手一杯。時間のかからない方での協力ならできるかもしれません。
- ・こどもファンドに応募したグループなどの紹介や取り組みを聞くのは興味がありますが、審査員として間近で聞くことや、新しい質問を思いつき質問すること、また、その意見をまとめるという点で、自分は能力が未熟で、達成すべきこともできないので、聴衆として参加したいです。
- ・質問を出すことが苦手なのと、審査をする側よりも行動したいから。
- ・どちらかというと、申請団体側で活動をしていきたいため。
- ・活動をしていきたいから。
- ・応募グループとして参加したいです。今年が5年目の活動になり、今高校1年生ですが、参加できる高3までいっぱい活動をして、高校卒業後に県外に出てしまっても、引き続き活動への何かしらのお手伝いをしたいと思っています。(私のチームがあとどれだけ続けるかは未定ですが)
- ・年齢
- ・審査をするのが苦手だから。
- ・発表を聞いて質問を考えたりするのは難しそうだし苦手だからです。
- ・大変でずっと座らないといけないから。
- ・これからの高知を盛り上げていく存在、ましてやほとんどが100,000円以上の大金を求めてここにいるため、そのような大金が動くこの場で、グループを評価、そして揺さぶるような質問をするのは至難の業なので、あがり症気味で慎重すぎる自分には向いていないと思う。
- ・勉強や部活などの、学校生活に専念したいから。
- ・自分にはお金の流通など分からない部分が多いので難しいかなと思います。
- ・難しそう。
- ・その場でグループの発表を聞いてすぐ質問を考えるというのが苦手だからです。
- ・指名されるのがあって、質問がなかったらあせってしまうから。
- ・質問を考えるのが苦手だし、自分の質問に自信を持って発表ができないから
- ・自分は、旭っ子記者クラブで旭をもりあげたいから。
- ・人の意見を、聞きまとめるのが苦手だから。
- ・あんなに的を得た質問を考えるのは難しいことだし、抜きうちで当ててこられると頭真っ白になってなにも言えなくなるからです
- ・急に質問しろと言われたら頭が真っ白になって時間をうばってしまうから。
- ・Team Petrioとしての活動があるのに加え、学校生活も忙しいので、難しいが、やってみたい気持ちはある。

- ・ やってみたい気持ちもあるけど、指名されるのは少し難しいから。
- ・ 私は久重 natural チームとしてこうちこどもファンドに参加したいと思っているので、審査員をやる予定はないです。
- ・ やってみたいとは思うが、質問が思い浮かびそうにないから
- ・ そういうのはいやだから。
- ・ 理由を書きます！こども審査員自体の活動内容はめちゃくちゃ面白そうなのですが、自分に質問する力がないと感じていて、役割が務まるか少し不安だからです！
- ・ 特になし。
- ・ こどもファンドのメンバーとして、審査会に出たいから。
- ・ 審査するのは学校でも似たようなものをしているので得意。
- ・ 確かに人の意見の思考の深さを問うのも面白いが、審査員に褒めてもらえる、いっぱい質問してもらえる発表者の方が面白いと考えている。
- ・ 楽しそうではあるが、部活や生徒会で忙しいから。大変そうだし、質問を考えるのが大変だから。
- ・ 審査するより活動したい。審査以外にもどのような活動をしているのか分からない。
- ・ 審査以外にどのような活動をしているのか分からない。
- ・ 質問を考えたりするのがとても苦手ですが、様々な団体の活動を知れるので興味があります。
- ・ 人数が多かったら、行っても邪魔になると思うのでいきません。人数が少なく、スケッチがいけるならいきます。

問7 そのほか、審査会やこどもファンドについて、もっとこうしてほしいことや、これからの活動の意気込みなど自由に書いてください。

- ・ 発表する時間が短いのでもう少し長くしてほしいです。
- ・ タイマーがほしい。
- ・ これからもっと地域の人を巻き込んで大きくこのチームをしていきたいと思った。
- ・ タイマー置いて欲しいです。
- ・ 昨年度から活動しているチームは、昨年度の活動内容を、公開審査会上に掲示したりしたい。
→プレゼンテーションが3分と短いので、アピールを最大限できない。新しい審査員の方にも、もっと私たちのことをしてもらいたい！
- ・ こどもファンドのバッジは、ご自由にお取りくださいますの形でおいて欲しいです。私は、昨年もらっていて、まだ使っているの、少し、もったいなく感じています。ゴミを減らす活動や環境のことをうったえる団体もいるので、こどもファンド側からもそのような姿勢を見せられると良いと思う。
- ・ 質疑応答の時間が少し短いと感じたのでもう少し長くしてほしいと思いました。
- ・ これからは卒業しても、高校で防災について広めていきたいと思います。
- ・ 発表時間をもう少し長くしてほしい。

- ・タイマー置いてほしいです。運営の方に対してではないですが、キャラ分けが毎年おもしろいです。楽しんでプレゼン見ているので、活動団体同士で発表が見られる仕組みがありがたいです。
- ・私たちの活動を、支援してくれる場があることにすごく感謝しています。私もはじめての活動で、ファンドの発表もはじめてだったのですが、いろいろな団体があっっておもしろかったです。他のグループの発表を聞くことで、他の活動にも興味が湧きました。いろいろな学校の人たちの、高知を変えていきたいという強い意気込みが伝わってきて、私ももっといろいろな活動をしていきたいと思いました。清掃隊として、自ら立ち上がって高知の未来を変えていけたらいいなと思います。ありがとうございました。
- ・できるだけ高知市内をきれいにできるようにがんばりたいです。
- ・今回の司会は、宇賀さんで OG さんを司会に採用されたところが素晴らしいと思う。公開協議はやはり面白いので続けて頂きたい。休憩時に他チームさんと交流できる機会があれば面白そうだなと思った。
- ・自分たちで開催するイベントも計画的に取り組みたい。一年間がんばります！！
- ・「もうちょっと」や「質問がある」という項目に、こども審査員がつけづらいということがあるかもしれないと今回感じたので、項目ごとの名前表示で、名前を表示せず、数だけを発表し、「質問がある」という人のみ把握しておくという形のほうが、自分がこども審査員なら気軽に自分の意見を伝えられると思いました。
- ・マイクのハウリング対策をすると、質疑応答の際に時間が増えると思います。→何本かのマイクを使ったり、リハーサルなど。私は今回初めてボランティアに参加したのですが、貴重な体験ができて良かったです。そしてこれからも、高知市のために清掃活動を行い、がんばって行きたいです。
- ・特になし！です！
- ・地域との関わりや地域活性化への学生参加について興味があるので、もっと地域の店や人と学生が関わられるようなプログラムやイベントがあると参加してみたいです。
- ・頑張ります。
- ・高知をもっと良くするため、地域のつながりをもっと強くするためにがんばっていききたい。
- ・(審査会やこどもファンドについて) →特になし。(これからの活動の意気込みなど) →高校生である私たちが対象を小学生にすることでの対策をもっと練る必要があるので熟考していきたい。
- ・全力でやる！市内をきれいにしていきます。
- ・応募グループが増えたことはそれだけこうちこどもファンドの知名度が上がり、地域を良くしようまちづくりをしようと動くこどもが増えたということですね。私もとても嬉しいです。私の学校は高知国際高校なのですが、中高一貫でどちらでも学校をあげてこどもファンドの周知をしています。そのおかげで校内全体にこどもファンドが知られているし、こどもファンドに参加しているチームの校内発表等もあったことから、かなり有名になったと思います。私のチームは、公開協議はありませんでしたが、他のチームの人たちが時間制限なく永遠に飛んでくる質問に一生懸命、そして臨

機応変に答える姿に尊敬しました。同じようにこどもファンドに参加する仲間（団体）を見て、私ももっと頑張ろうという思いにさせられました。

- ・こどもメンバーとしては最後の年。がんばります。
- ・久重 natural チームは小・中・高生と、年の差が大きいけど、みんなで協力して楽しく活動したいと思います。私は、中学生で部活などがあって、参加できない活動とかもあるかもしれませんが、参加できる活動を全力で楽しもうと思います。
- ・これから年齢に関わらず、みんなで、楽しく活動をできるといいなと思います。
- ・審査会でも、自分の発表をしっかりとできたらいいかなと思います。
- ・これからも活動を頑張りたいです。
- ・これからもみんなと楽しく、活動を、がんばりたいです。
- ・ありません。
- ・これからもがんばっていきたいです。
- ・とくになし。
- ・特に意見はなし。これからの活動は、ほかのメンバーに任せっきりにならず、自ら自主的に意見等を出して進めていきたい。
- ・チームへの質問に上手く答えられていない場合でも、「ありがとうございました」とやりとりが終わってしまっていたので、発表者と、審査員がしっかり対話できるように工夫すると良いと感じました。
- ・時間配分についてですが、開会式の時間を余裕が持てるようにもう少し長めにとってもいいのではないかと思います！毎回明確なスケジュールをありがとうございます!!また、一次審査の結果が、後ろの方からだとすごく見えづらかったです。もっと大きい紙にしたり、文字を大きくしたり、スクリーンに映したりしていただきたいです。
- ・「7月～2月」という、約1年間の活動だと、どうしても「忙しくて活動ができない期間」が出てきてしまうと思うから、もう少し短期間の活動でもいいのではないかなと思いました。この「こどもファンド」はこの期間設定で、もう少し短いものがあったてもより参加しやすいのではないかと思います。規模は小さくなってしまおうと思いますが、より取り組みやすく、自分たちにできる範囲での活動ができるのではないかと思います。
- ・次年度への活動につなげるために、全力で頑張りたい。
- ・今のままでも十分ありがたいです。私はこの活動を通して地域のことをよく知りたいと思ったので、自分たちの活動だけでなく、他のグループにも興味があります。グループ同士の連絡網があればいいかなと思いました。
- ・一生懸命頑張ります!!!
- ・先輩の発表は受け答えがスマートで、声をそろえて元気いっぱいだったので、自分の発表の参考になった。

- ・ 大人が考える疑問をこども審査員に共有したら議論がはずむと思う。大人サポーターが応募者と審査員のかけ橋となっていて、各々の意見をかみくだいてわかりやすく伝えている。初年度の活動なので、やりたい事をつめこみすぎて計画が破綻したり、イベントの質が下がったりしないよう、やるべきことを絞っていく。今年度はイベントとオープンチャットで運動のきっかけと継続をはかっていく。
- ・ 高知県の運動量の底上げに協力する。
- ・ 特になし。
- ・ 今後の活動として今日のプレゼンテーションで述べたように、伝統工芸品×地域活性化をテーマに活動したい。けれどこの場では、質問によって私達の考えをブラッシュアップする機会が少なかったように思う。審査員の質問がないのであれば、他団体からも許可してみてもどうか？
- ・ 質問がなかったら、早めに終わった方がいいと思う。
- ・ 小学生・中学生・高校生も質問できるようにしたらいいと思う。（観客側も…）
- ・ 盛り上がる時とかがあるのはいいと思います。
- ・ これからの活動で、地域の方々と協力しながら準備を進めていきます。
- ・ 質疑応答で時間が空いたりしていたので、もう少しどんどん質問してもよかったと思った。また、他チームからの質問なども行ったら良いと思いました。
- ・ 地域の人や、小学生などにイベントに参加してもらえるように、イベントの宣伝などにも力を入れたいと思う。イベントを楽しんでもらえるように、生徒会などで協力して、活動を進めたい。またこのイベントをきっかけとして、いろんな人に城西中に来てもらえるようにしたいと思う。
- ・ 審査員さんがもっと質問や感想を言ってくれるとうれしいです。審査員さんだけでなく参加者のグループも質問OKにしてほしい。できる限りの沈黙を無くして欲しいです。OG（司会）がみんなに問いかけているのはとても良かったです。質疑応答がもし無ければ次に進んだ方が良いと思うしそちらの方が効率も良いと考えます。初めての参加でしたが、楽しかったし、色々な計画があっという間だと思ったり、そういう計画もあるか!!と、納得させられるようなプレゼンになっていて、いいと思いました。OG（司会）さんがすごくがんばっていて良かったし、すごい盛り上がっていて良かったです。
- ・ 今まで、One For All in 城西中のみんなで「こうしたらいいんじゃない？」とかこのこどもファンドの本番のためにプレゼンの練習などを頑張ってきたので、本番は頑張ってきたのを升形商店街さんのみなさんなどと協力し、地域の人とのつながりをより深められたらいいなと思っています。本番のプレゼンはめっちゃ楽しかったです。
- ・ 升形商店街の方々に協力してもらい、地域の人との交流をさらに増やして城西中学校のことをもっと知ってほしいと思ったので、生徒会の中で自分が出来ることを積極的にやりたいと思います。
- ・ これから、イベントに向けて、準備などをしていきます。地域とのつながりを深めていきたいです。

また、改善点は、質問がないときがあつて間があつたり、他の人にふつたりしていたので、他の団体さん（グループ）にも質問権があるような感じにしたりすると、場がなごんだりするので、いいと思いました。

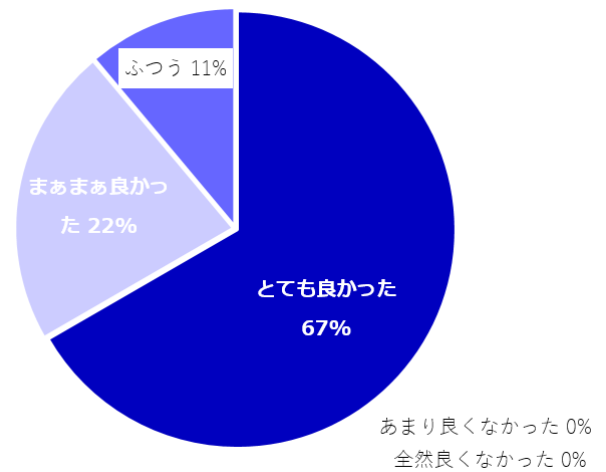
- ・落ちてしまった団体などのサポートはあるのか？「もったいない」と思ってしまう。
- ・特にないです。活動は全力で頑張ります!!
- ・ステージが思っていたより狭かった。他のグループは少人数3～5人だったが私たち城西中は14人の生徒会で参加している側からはものすごく狭いと感じられた。もう1つのグループ久重naturalチームさんも11人で参加していたが見る限り、マイクの受け渡しもあり、時間がもったいないのでマイクの本数も考えてほしいと思いました。
- ・マイクを増やしてほしいです。本番にむけてがんばっていきたいです。
- ・審査会の際に審査員などの手元にパンフレットを配布したいと思うのだけれどどうだろうか？
- ・こどもファンド内で、他団体に連絡を取りたいとき、もっと気軽に関わられるようなもの（ネットワークを用いたもの、ファンド会のような会を開く）を作してほしい。今回のイベントは今まで以上に他団体との関わりを深め、大きなイベントにしていきたいと思っています！
- ・助成金をしっかりと使って、充実した活動にしていけるように先輩方からたくさん学んで、がんばっていきたいです。
- ・特にないです。
- ・これからの活動はまだまだ、本宮川がきれいではないので、市の人達が見てもきれいと言われるような町にします。
- ・ない。
- ・次に審査会に来た時は自分も質問に答えられるようになっていきたいです。
- ・ボランティアをしたい時に、どうすればいいのか分からない時に、友達に誘われて参加して良かったなと思います。来年は、もっと多い人数で発表できれば良いなと思います。
- ・審査会は毎年どんなグループがあるんだろうと楽しみに参加しています。また自分達で考えてきたことを、大人からこどもまで幅広い世代の方に知ってもらうことができる、最高のチャンスだと思っています。しかし、本当に1つだけ惜しい所を言うなら、審査会などのファンドのイベントはいつも時間が押していて、予定より解散するのが遅くなってしまう、その後の予定がくずれてしまうことがあるので、その時間管理だけしっかりお願いしたいです。
- ・これから、一生懸命活動に取り組み、いろんな人の役に立っていろんな人を笑顔に出来たらいいなと思います。
- ・こどもファンドについては、以前チラシで知って、とても興味があり参加したいと思っていたので、参加できて良かったです。
- ・発表の時間を増やしてほしい。

令和5年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：大人サポーター）】

回答数6人

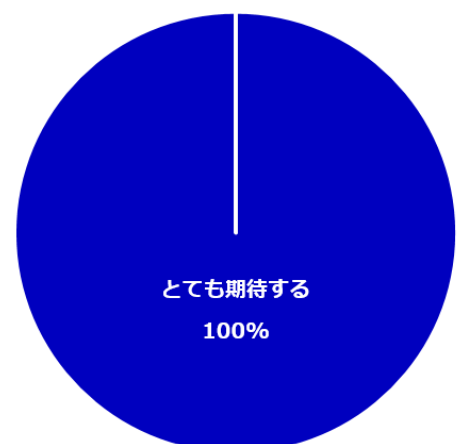
問1 審査会の進め方はどうでしたか。

- ・準備等お疲れ様でした。司会の方の進め方もわかりやすく、非常によかったと思います。ありがとうございます。
- ・こどもたちで考え、計画していたので、主体性を持って進められて良かった。
- ・アナウンスもスムーズでしたし、ユーモアもあり楽しめました。
- ・今回12団体の申請で、長時間にわたり準備が大変だったと思います。時間設定が難しいですね。
司会の進め方、工夫してくれてありがとうございます。
- ・スムーズに進行していたと思います。質疑応答の雰囲気も良かったと思います。
- ・時間が押している中、うまく仕切ってくれました。
- ・例年に比べてこども審査員からの質問が少ないように思いました。質問をすぐに出せないこどもさんに対しては「後で」と配慮されていて良かったです。もし指名して質問が出なければ、「良いところはどこですか？」とか「分かりづらいところはなかったですか」など具体的にきいてあげてもいいのかなと思いました。
- ・それぞれに対する質疑応答が、やや長すぎるように感じる部分がありました。OB・OGがよく動き、場を和ませていたと思います。全体的に、とても上手に運営していたと思います。
- ・司会がスムーズだった。こども審査員の挙手は少なかったものの、質問や感想が言えていた。



問2 これからこどもたちが進める活動について、今どのように思いますか。

- ・これからの未来を支えるこどもたちに期待しています。そのためにも「こどもファンド」のような活動が増えるといいなと感じています。
- ・小学生に楽しさを伝えることは、自分も楽しんで活動しなければ伝わらないと思うので楽しみながら進めていって欲しいと思います。
- ・全ての団体に対し期待しかありません。高知のためにここまで熱く考えてくれている事に感動しました。
- ・様々な取組に楽しさを感じる。
- ・子どもたちが考え、行動するということが大切だと考えます。何か行動をおこすことによって自信



付けていってもらいたいです。

- ・皆さん様々な視点で活動を考えているので、今後の参考にしたい。またイベントなどには出かけて実際に見てみたい。期待している。
- ・参加できるイベントには足を運びたいと思います。こどもファンドのインスタで事前にお知らせをよろしくお願いします。
- ・計画通りにすすめられるように期待しています。

問3 こどもがまちづくりに関わることで、自分の行動や意識にどのような変化があると思いますか。

- ・こどもたちの姿を見ていて、私たち大人ももっと頑張らないといけないと感じました。また、様々な学校・地域の活動を知ることができました。ありがとうございました。
- ・今まではスルーしていた、地域の活動やイベントにアンテナを張るようになりました。
- ・これからも全力でサポートしていきたいと思います。
- ・各団体の特色が高度で、魅力的な取組が繰り広げられそうで、とても楽しみです。
- ・申請書の作成、プレゼン、活動、活動報告といった学生（学校）生活の中では経験できないものを多く経験できるので、生きていくことに前向きに、自信をつけることができると思います。
- ・こどもをうまく引っ張ったり、支えたりしなければならないと思っているので、先読みする力が必要だと思っている。
- ・支えていきたいという気持ちは年々強くなります。自分の所属している団体だけでなく、他団体も応援したいです。
- ・社会の持つ課題に気づき、その解決のために様々な人々が活動していることを知り、自分たちの行動が社会に動きを与えることができると認識できると思います。
- ・保護者や先生以外の大人や団体、会社と触れることで、日常生活では体験できないことができるようになるのが良いと思います。

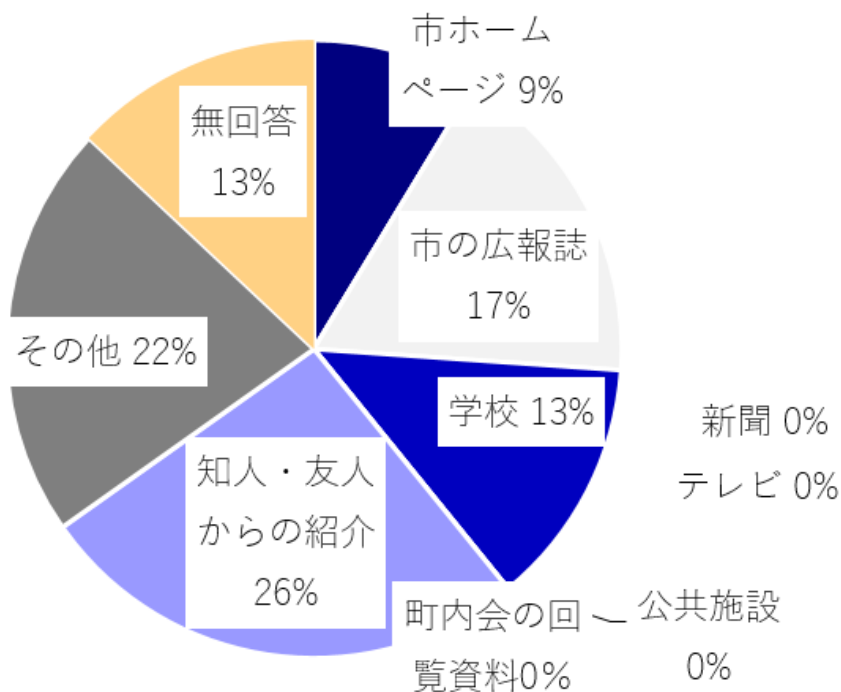
問4 本日の審査会や「こどもファンド」の制度に関して、もっとこうして欲しいという点や、お気づきになった点があればお書きください。

- ・長期計画ができるように複数年単位での助成があると良いと思います。
- ・ぎゅうぎゅう詰めだったので団体数によって会場のサイズを選んでいただければ良いのではないかと思います。
- ・3年で同じ内容がNGというしほりを何とか、別の方法？など難しいですが（？）援助できればいいのにと思いました。3年で終わるのがもったいない活動がたくさんあります。違う団体のイベントにみんなが参加できると交流も深まり、情報共有することでより良いものにすることができると思います。
- ・タイマー（プレゼン時に見えるよう）があると良いと思います。

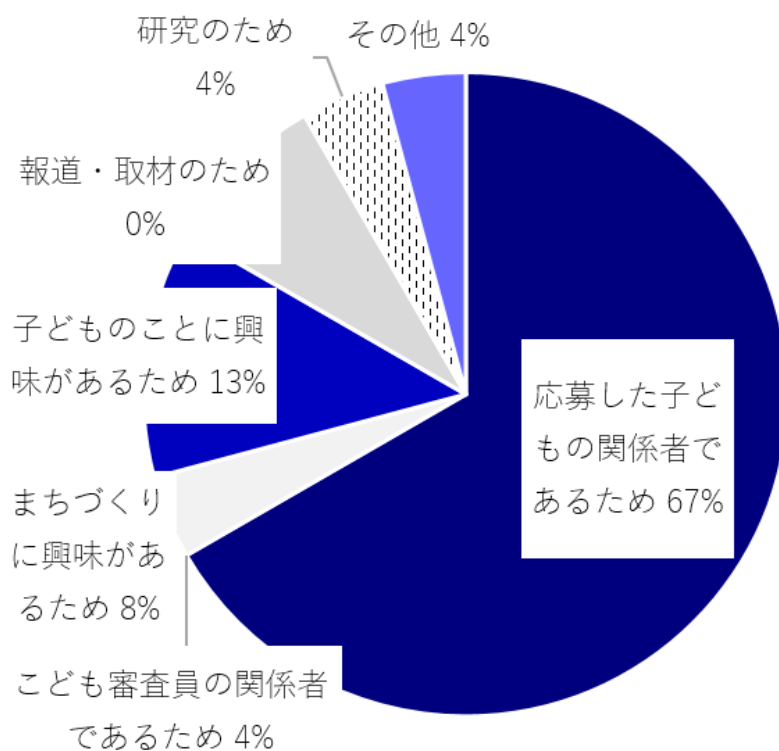
令和5年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：一般来場者）】

回答数22人

問1 本日の公開審査会について何で（どこで）知りましたか？



問2 本日の公開審査会に来た目的はなんですか？



問3 こうちこどもファンドについてどのような印象を持ちましたか？

- ・今回は中学校・高校などの団体が多く、こどもファンドの活動が部活のような感じでされ始めていることに感心しました。
- ・司会やスタッフがOB・OGで運営されていて、更に今後に期待します。
- ・大人サポーターとの関わりも不可欠なのでやりたいと思うこどもがいても、参画する行動に移せる人は限られていると思う。
- ・とても良い活動。こどもたちのためにもなる。
- ・高知の事を考えてどの団体もよくがんばっています。
- ・レベルが高いと思った。
- ・今年は応募した団体が多くて良かったと思います。とても良い取組みなのでもっと広がってほしいです。
- ・こどもたちの活動の内容の発想力が豊かでアイデアもいいものがありました。
- ・こどもの時から、テーマについて、考えて取り組む、いい機会と思いました。
- ・11回（年）という長期に及ぶ取組の継続、大変素晴らしいと思います。
- ・創意工夫のある企画、プレゼンテーションを丁寧に練って臨むみなさんの一生懸命さに感心しました。刺激をもらいました。OB・OGのようなまちづくり人が生まれていて素晴らしいと思いました。
- ・こどもたちが地域活動に関わるきっかけになる。こどもを通して、親も地域につながる良い循環。こどもたちが自分達の言葉でしっかりと発表していて成長を感じたし、審査員の方々も素晴らしいかっと思います。
- ・こどもの考えがしっかりしていると思った一方、大人のサポートが必要なところも多い。
- ・こどもたちの”やりたい”気持ちに寄り添うすばらしい活動と思います。
- ・初参加です。一人一人が（小・中・高）、しっかりと発言していることに感動しました。
- ・こどもたちが自ら考え、提案する事がとても良いと思います。
- ・とても素晴らしい取組みと思いました。
- ・年々プレゼンの質が上がってきているように感じ、よかったです。
- ・初めて参加しました。良い意味で大人がこどもの邪魔をしない（こどもが主体）の取組だと感じました。

問4 本日の審査会の進行について何か改善したほうが良いと思うことはありましたか？

- ・発表団体にも練習させた方がよいこと、発表資料の文字ポイントを大きくさせた方がよい。こども審査員がもっと質問出来るようにした方がよい。
- ・一般参加者からも少し質問できる機会があったらと思いました。
- ・時間配分等適切でした。

- ・スムーズだが、外で待機しているチームは、ステージ発表中の様子が分からないのが残念。
- ・以前のように、グループ側、審査員側とのたくさんの意見のやりとりを見たい。沈黙時間が多く長すぎる。同じ子しか質問していないのが気になりました。大人の方が聞くことになるのはしかたないかなと・・・。
- ・事前にこども審査員や大人審査員の人が申請書を確認して、当日の質問と別に事前質問をチームにして、当日発表してもらうともう少しスムーズになるのでは？
- ・質問をあらかじめ用意していると良いと思う。
- ・発表から質問までの時間が短いことで、委員の皆さんが質問するまでに時間がかかっていたので、1～2分程度待ってもよいのではないかな。その時間を別途有効活用できれば尚良いと思う。
- ・質問について事前に何点かあげておくと、スムーズな進行になると思います。
- ・ペトリオのペットショップに対するネガティブな発言は少し気になりました。もちろん悪意はないということは分かりますが、ペットショップ関係者の方がもしいたらどう感じるかなと心配しました。

問5 こどもが審査に関わることをどう思いますか？

- ・最終判断がこどもだけでなく、大人が入って行われるのであれば良いと思います。
- ・こども目線での質問は、大人にはできないことです。とても重要だと思います。
- ・とても良い。まちづくりに関わる事が大切。
- ・こども目線の質疑良いと思います。
- ・良いと思うが、小学生にはむずかしい内容があった。
- ・とても良い事だと思う。
- ・大人にはない目線での質問にいつも驚かされます。
- ・この事業の根幹的な良いところだと考えます。「子ども+大人」で良いと思う。
- ・とても良い事だと思います。もっと審査員が増えてほしいと思います。
- ・こどもらしい率直な意見がいいですね。手厳しい意見もあり、頼もしいです。
- ・凄く良いと思いますし、こどもの時から実践し、身に付けることで、大人になっても、自然に良い教養が身に付くと思います。
- ・様々な視点が入ることはすばらしいと思います。色々な経験を通して、実績、成功体験をつんでいくということで、彼ら彼女らの将来に何か新たな”きっかけ”となればと思います。
- ・自分の思いを言葉にすることはとても大変だと思いますが、大人にはない視点をまちづくりに提供してくれているのでとても大切な試みです。
- ・こどもの視点での気付きや疑問、聞いていてなるほどと思う。
- ・こどもの目線で質問があがるのはとてもよいと思いました。
- ・こどもの視点で審査でき、とても良いと思います。

- ・よいことだと思います。
- ・他の子のプレゼンを聞き、いろいろと考える事、機会をもつ事、自らの今後につながると思います。
- ・的確に審査されていてすばらしく思いました。
- ・今年はこども審査員からの質問が次々と出てよかったと思います。
- ・すごく良いと思います。

問6 こどもファンドの制度についてや、本日の感想など自由に書いてください。

- ・今後も頑張ってください。
- ・多くの団体が参画し、こどもファンドの知名度も上がり、こどもがまちづくりに関わる事の大切さをもっとたくさんの方に知ってもらいたいと感じた。
- ・いい機会でした。これからもがんばってください。
- ・とても良い制度だと思うので、全国に広がってほしいと思います。
- ・こどもたちの活動は、それぞれ特色のあるものでいいと思います。できれば地域の力を貸りる、関わってもらえる方法をもっととり入れたらいいかな？
- ・こどもと大人が、一つのテーマに真剣に向き合える素晴らしい機会と実感しました。これからも引き続き、よろしくお願いします。
- ・小学生～高校生が「地域が今どうなっているか（現状）」→「どのような問題が生まれるか（課題）」→「自分たちに何が出来るか（方針）」をしっかりと考えられていることは、素晴らしいと思います。また、これまでファンドに関わったOB・OGの方が活動の継続に関わっているということも、重要なことで、とても良い取組だと思います。
- ・こどもファンドのしくみは応募の輪をどう広げていくかなど課題もあると思いますが、試行錯誤しながらぜひ継続してほしいと思います。みなさん、お疲れさまでした！
- ・各グループ、個性を生かした発表をしていてとても勉強になりました。
- ・発表や活動に向け各団体、努力していることは明らかなので、できるだけ多くの団体が助成決定すると良いと思います。どの団体もすてきな発表でした。審査員も協力的で充実した会でした。
- ・新聞では、時々見かけていましたがこの制度全体についてはよく理解できていません。これを機会に深く知りたく思っています。
- ・何かをプレゼンし、資金を獲得する事、良い事だと思います。
- ・勉強になりました。やっぱりこどもの可能性は無限大!!ですね。

【発行】

高知市市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780—8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL／088－823－9080

FAX／088－824－9794

<令和5年10月発行>